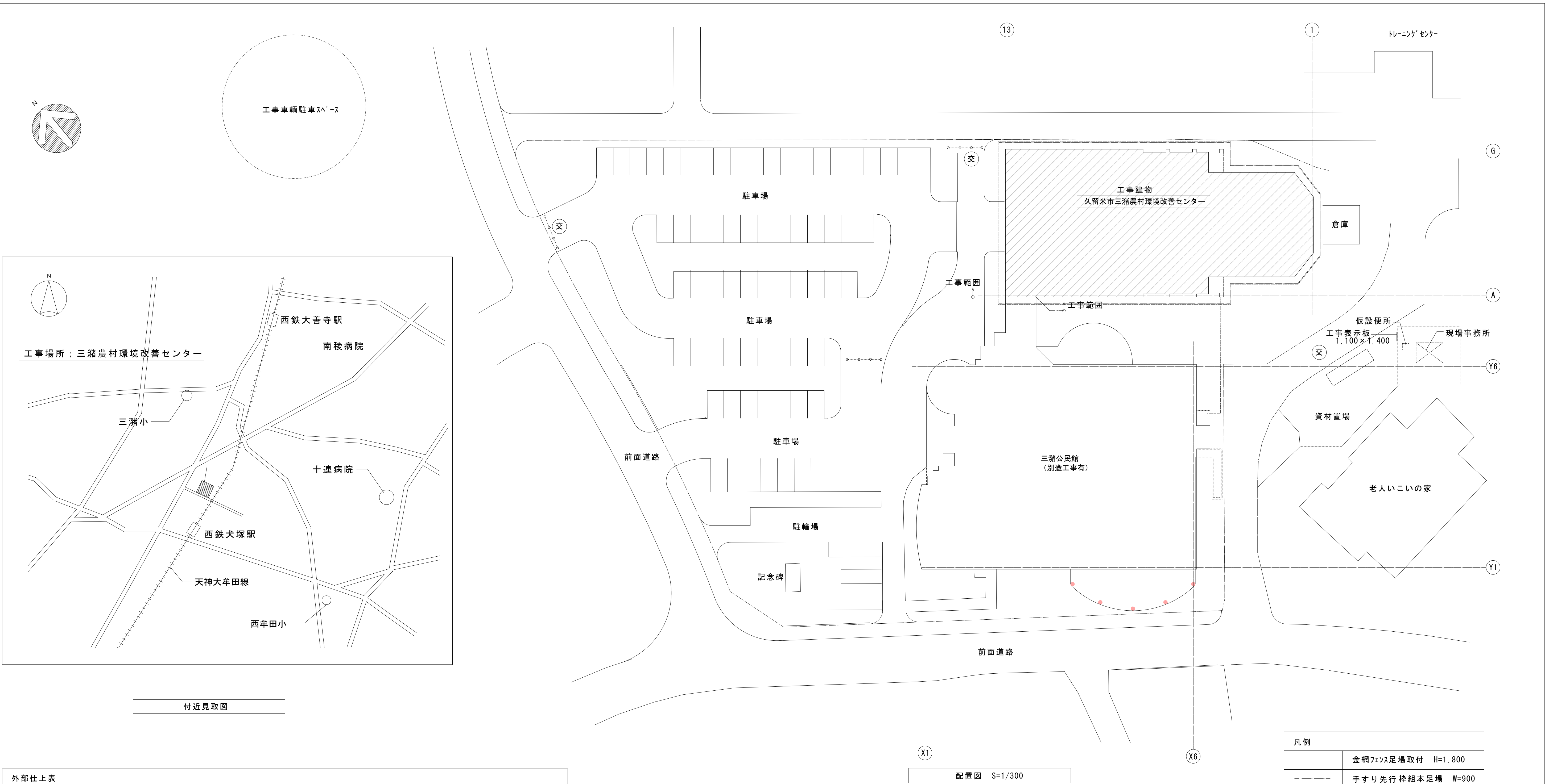


三潞農村環境改善センター 外部改修工事

図面リスト					
□ 建築			□ 電気設備		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	――	E 1 / 5	電気設備工事特記仕様書	――
A-02	改修工事特記仕様書（1）	――	E 2 / 5	電気設備 北立面図	S=1/60
A-03	改修工事特記仕様書（2）	――	E 3 / 5	電気設備 南・西立面図	S=1/60
A-04	配置図・付近見取図	S=1/300	E 4 / 5	電気設備 東立面図	S=1/60
A-05	改修前 1 階平面図	S=1/100	E 5 / 5	電気設備 2 階平面図	S=1/100
A-06	改修前 2 階平面図	S=1/100			
A-07	改修前 R 階平面図	S=1/100			
A-08	改修前 西・南立面図	S=1/100	□ 機械設備		
A-09	改修前 東・北立面図	S=1/100	図面番号	図面名称	縮尺
A-10	改修前 断面図	S=1/100	M 1 / 4	機械設備工事特記仕様書	――
A-11	改修前 A～A 矩計図	S=1/30	M 2 / 4	東北面 立面図	S=1/100
A-12	改修前 B～B 矩計図	S=1/30	M 3 / 4	西南面 立面図	S=1/100
A-13	改修前 C～C 矩計図	S=1/30	M 4 / 4	2 階平面図	S=1/100
A-14	改修前 D～D、E～E、X～X 矩計図	S=1/30			
A-15	改修前 1 階天井伏図	S=1/100			
A-16	改修前 2 階天井伏図	S=1/100			
A-17	下地補修 2・R 階平面図	S=1/150			
A-18	下地補修 西・南立面図	S=1/100			
A-19	下地補修 西・南立面図	S=1/100			
A-20	改修後 1 階平面図	S=1/100			
A-21	改修後 2 階平面図	S=1/100			
A-22	改修後 R 階平面図	S=1/100			
A-23	改修後 西・南立面図	S=1/100			
A-24	改修後 東・北立面図	S=1/100			
A-25	改修前 断面図	S=1/100			
A-26	改修後 A～A 矩計図	S=1/30			
A-27	改修後 B～B 矩計図	S=1/30			
A-28	改修後 C～C 矩計図	S=1/30			
A-29	改修後 D～D、E～E 矩計図	S=1/30			
A-30	改修後 1 階天井伏図	S=1/100			
A-31	改修後 2 階天井伏図	S=1/100			
A-32	軽鉄胴縁下地・サツ廻り詳細図	S=1/5 S=1/10			
A-33	建具表	S=1/60 S=1/100			
A-34	防水詳細図（1）	S=1/20			
A-35	防水詳細図（2）	S=1/20			

4	① 改修材料	・タイル部分張替え工法用材料	接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
		強度 (N/mm ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	
		・凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	
		・皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化	
		・引張強さ (N/mm ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	
		・伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上	
		・貯蔵安定性	容積と粘度に著しい変化がないこと。					
		・耐熱性	JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8ℓおもりで安定していること。					
		a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。						
		b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。						
		c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。						
		d. 常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20％）において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。						
		e. ずれ抵抗性があること。						
		f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。						
		・エポキシ樹脂モルタル	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ			
		1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上				
		a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。						
		b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。						
		c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。						
		d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。						
		e. 常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20％）において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。						
		○ポリマーセメントモルタル	ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等					
		・曲げ強さ (N/mm ²)	・圧縮強さ (N/mm ²)	・標準時	・湿潤時	・低湿時		
		6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上		
		・表面状態	だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。					
		・透水性	裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。					
		・均質で有害と認められる異物の混入がないこと。						
		・ポリマーセメントスラリー	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (72時間)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (劣化曲げ強さ)	耐久性
		3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上	
		保水係数	0.35～0.55	粘調係数	0.50～1.00			
		・吸水調整材	項目	全面割合 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm ²)	界面破壊率 (%)	
		品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下		
		均質で有害と認められる異物の混入がないこと。						
		4-1	1 ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法	[4.1.4] [4.3.4～6]			
		・注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考		
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※			
		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130			
		・注入材料	[4.2.2]					
		※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)						
		・検査 (コア抜き)	※行わない ・行 (抜取り部の補修方法：)	[4.3.4]				
		○Uカットシール材充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]					
		・充てん材料	品質・規格等	備 考				
		○シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行				
		・可とう性エポキシ樹脂						
		・シール工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]					
		・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂						
		② 欠損部改修工法	※充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]				
		・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル						
		4-2	1 既存モルタル塗りの撤去	・行 (※全面・図示の範囲)				
		② ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)	[4.1.4] [4.4.2] [4.4.5]				
		※樹脂注入工法 (※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※			
		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130			
		・注入材料	[4.2.2]					
		※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)						
		・検査 (コア抜き)	※行わない ・行 (抜取り部の補修方法：)	[4.3.4]				
		○Uカットシール材充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]					
		・充てん材料	品質・規格等	備 考				
		○シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行				
		・可とう性エポキシ樹脂						
		・シール工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]					
		・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂						
		③ 欠損部改修工法	※充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]				
		・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル						
		4-3	1 既存モルタル塗りの撤去	・行 (※全面・図示の範囲)				
		② ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)	[4.1.4] [4.4.2] [4.4.5]				
		※樹脂注入工法 (※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※			
		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130			
		・注入材料	[4.2.2]					
		※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)						
		・検査 (コア抜き)	※行わない ・行 (抜取り部の補修方法：)	[4.3.4]				
		○Uカットシール材充てん工法 (既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5.6]					
		・充てん材料	品質・規格等	備 考				
		○シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行				
		・可とう性エポキシ樹脂						
		・シール工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]					
		・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂						
		④ 欠損部改修工法	※充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]				
		・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル						
		4-4	1 既存モルタル塗りの撤去	・行 (※全面・図示の範囲)				
		② ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)	[4.1.4] [4.4.2] [4.4.5]				
		※樹脂注入工法 (※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※			
		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130			
		・注入材料	[4.2.2]					
		※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)						
		・検査 (コア抜き)	※行わない ・行 (抜取り部の補修方法：)	[4.3.4]				
		○Uカットシール材充てん工法 (既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5.6]					
		・充てん材料	品質・規格等	備 考				
		○シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行				
		・可とう性エポキシ樹脂						
		・シール工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]					
		・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂						
		⑤ 欠損部改修工法	※充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]				
		・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル						
		4-5	1 既存モルタル塗りの撤去	・行 (※全面・図示の範囲)				
		② ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)	[4.1.4] [4.4.2] [4.4.5]				
		※樹脂注入工法 (※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※			
		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130			
		・注入材料	[4.2.2]					
		※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)						
		・検査 (コア抜き)	※行わない ・行 (抜取り部の補修方法：)	[4.3.4]				
		○Uカットシール材充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]					
		・充てん材料	品質・規格等	備 考				
		○シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行				
		・可とう性エポキシ樹脂						
		・シール工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]					
		・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂						
		⑥ 欠損部改修工法	※充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]				
		・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル						
		4-6	1 既存モルタル塗りの撤去	・行 (※全面・図示の範囲)				
		② ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)	[4.1.4] [4.4.2] [4.4.5]				
		※樹脂注入工法 (※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※			
		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70			
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130			
		・注入材料	[4.2.2]					
		※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)						
		・検査 (コア抜き)	※行わない ・行 (抜取り部の補修方法：)	[4.3.4]				
		○Uカットシール材充てん工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]					
		・充てん材料	品質・規格等	備 考				



外部仕上表			
部位	施工状況	改修前	改修後
屋根（R階）		ゴムシート防水	平場：高圧洗浄の上合成高分子シート防水（S-M2工法） 立上り：高圧洗浄の上合成高分子シート防水（S-F2工法）
〃（2階）		シート防水下地ウレタン塗膜防水 集会室：防水モルタル下地ウレタン塗膜防水	平場：高圧洗浄の上合成高分子シート防水（S-M2工法） 立上り：高圧洗浄の上合成高分子シート防水（S-F2工法）
外壁		モルタル塗下地 47ニ丁掛磁器タイル貼 一部モルタル刷毛引アクリリシロ吹付	軽量鉄骨下地R-17ノカ止め軽鉄胴縁下地ガルバリウム鋼板サイディング張 t=18 一部高圧洗浄（30～50Mpa）の上遮熱断熱塗料
根廻り		モルタル刷毛引	カチンファイバー下地複層塗材Eトップコート塗
窓廻り（窓まぐさ）		モルタル塗下地 47ニ丁掛磁器タイル貼	ガルバリウム鋼板 曲げ加工 一部高圧洗浄（10～15Mpa）の上防水形複層塗材E（透湿型）
〃（窓面台）		モルタル塗下地 47ニ丁掛磁器タイル貼	7mm水切 新設 一部高圧洗浄（10～15Mpa）の上複層塗材トップコート塗
建具		アルミサッシ、ステンレスカーテンウォール、スチールドア他	ガラス押え打ち替え 一部ガラス取替
縦樋		硬質塩ビ管 VP	縦樋：カーVP100φ 新設
ガラス床		せり器質タイル	高圧洗浄（10～15Mpa）
フロー床		せり器質タイル	高圧洗浄（10～15Mpa）
備考			鉄部 下地調整の上 DP塗替え

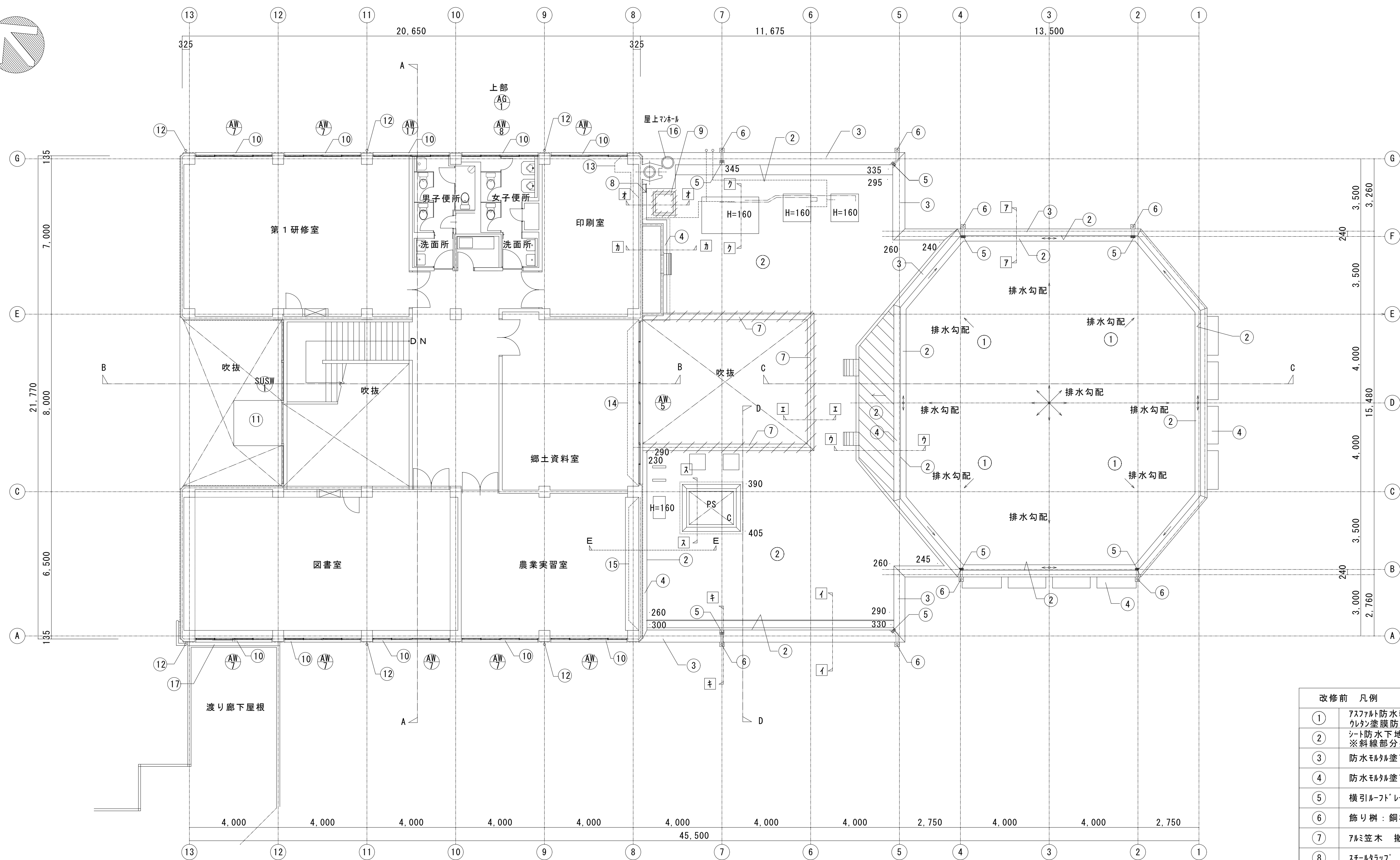
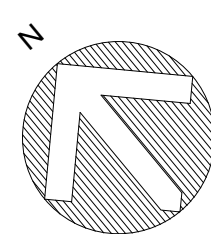
凡例	
-----	金網フェンス足場取付 H=1,800
-----	手すり先行枠組本足場 W=900
○-----○	重機作業時コーンバー設置
-----	ミニフェンス H=1,200
⊗	交通誘導員配置位置を示す

特記事項	
※	工事車輛駐車場、仮囲い、資材置場などの位置および設置並びに工程については、着工前に施設側と協議の上決定する事。
※	工事中は、施設利用者に対する安全管理及び対外調整を図り、円滑に工事を行う事。
※	工事中大型車輛が進入する場合は、徐行運転を行い、交通誘導員により交通整理を行う事。（交通誘導員 延12名）
※	工事中に周囲の施設等に破損を与えた場合は、請負者の負担にて現況復旧する事。
※	工事動線上の構造物、地表及び地下埋設配管、マンホール、危険箇所等には適切な養生を行う事。
※	現場内外の整理清掃に努める事。
※	毎日の作業終了後は清掃・片付け、取締りを行い、火災には十分気を付ける事。
※	仮囲いを設置する場合は、強風等で転倒しないよう適切な固定を行う事。



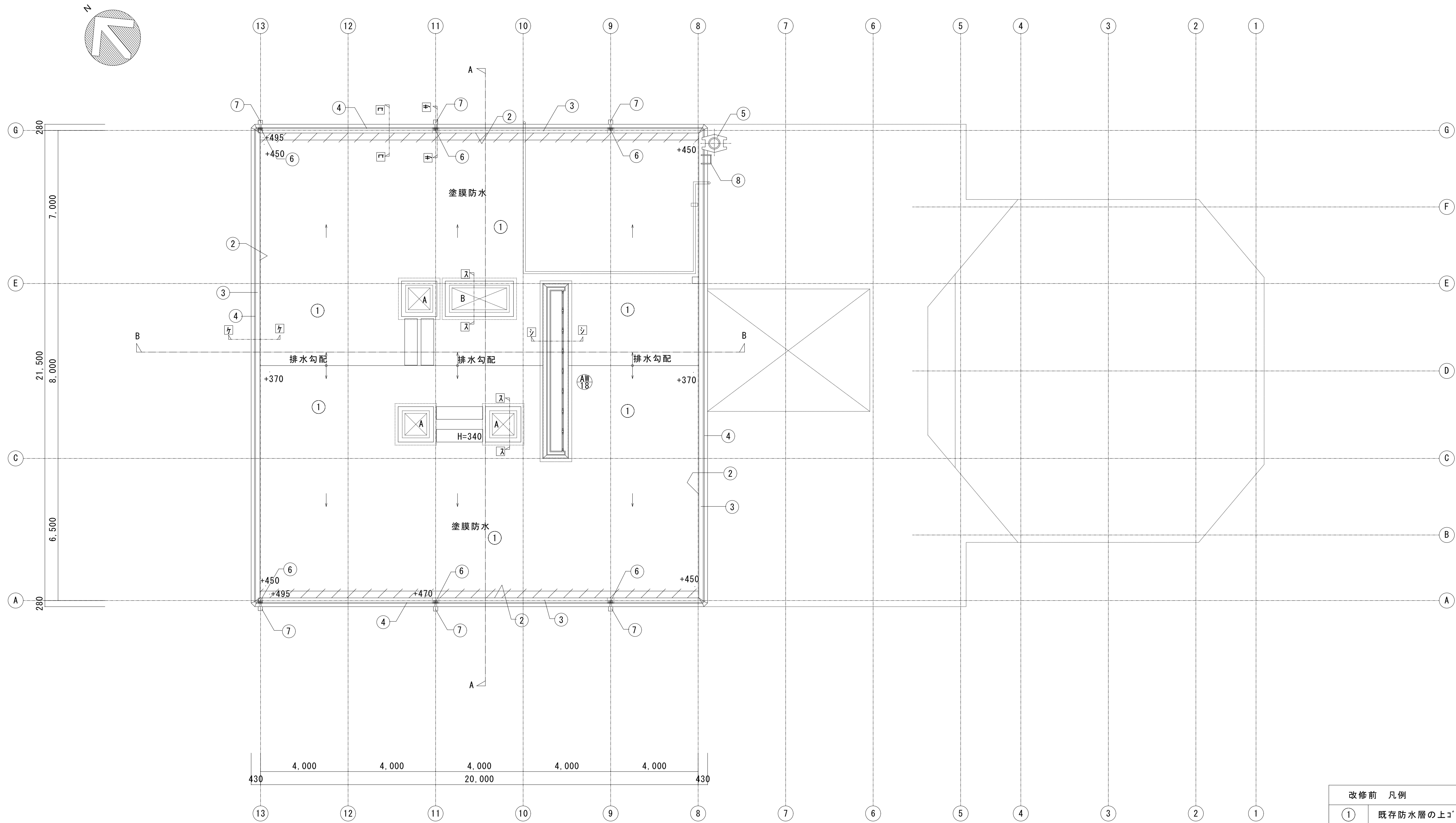
改修前 1階平面図 S=1/100

改修前 凡例	
①	塩ビ製縦樋 VP100φ撤去
②	中庭排煙窓ワンタッチ操作部分（ラッチ、ダッパ）破損
③	EXP.ジャッキ 撤去
④	腰壁化粧合板張り 撤去
⑤	天井石膏ボード吸音材吹付 撤去
⑥	壁モルタル下地EP塗
⑦	面台、サッシ廻り三方タイル 撤去
⑧	高圧洗浄（10～15Mpa）
⑨	内部 廊下天井化粧石膏ボード（7）9撤去 1,800角程度
	各部断面図切断位置を示す



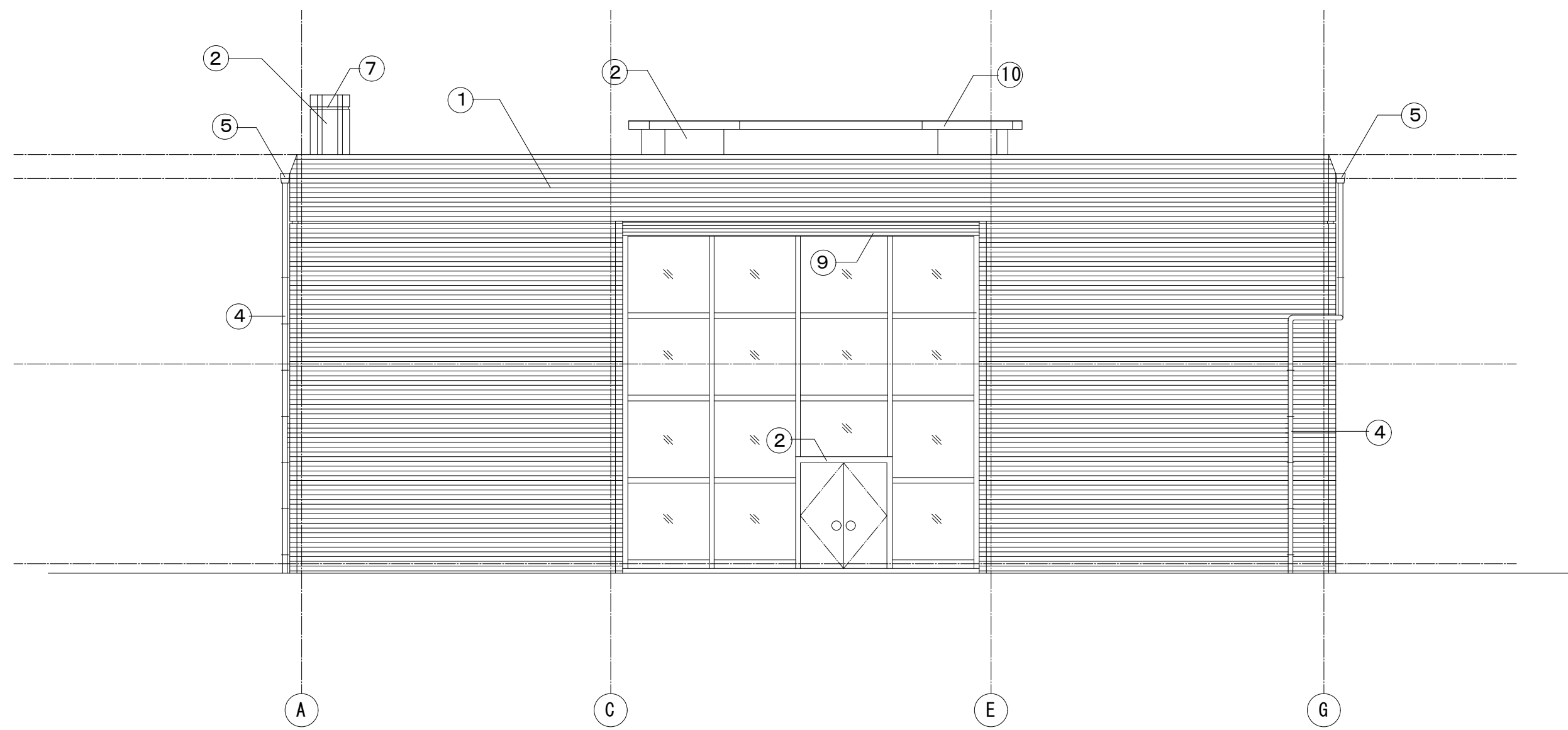
改修前 2階平面図 S=1/100

改修前 凡例	
①	アスファルト防水軽量コンクリート押えの上防水モルタル下地 ウレタン塗膜防水
②	シート防水下地ウレタン塗膜防水 ※斜線部分塗膜除去
③	防水モルタル塗下地 ウレタン塗膜防水
④	防水モルタル塗下地 吹付タイル
⑤	横引ルーフドレーンキャップ 撤去
⑥	飾り樹：銅板加工の上 VP 取外し保管
⑦	アミ笠木 撤去
⑧	スチールラック 撤去
⑨	水槽立上り撤去
⑩	サッシ廻り 面台、三方タイル撤去
⑪	防水モルタル塗
⑫	縦樋：硬質塩ビ管 100φ（掴み金物共）
⑬	壁クラック及び塗膜剥離
⑭	腰化桎合板剥離
⑮	壁モルタル下地EP 汚損 カンター流し 破損
⑯	屋上マンホール
⑰	EXP. Jカバー 撤去



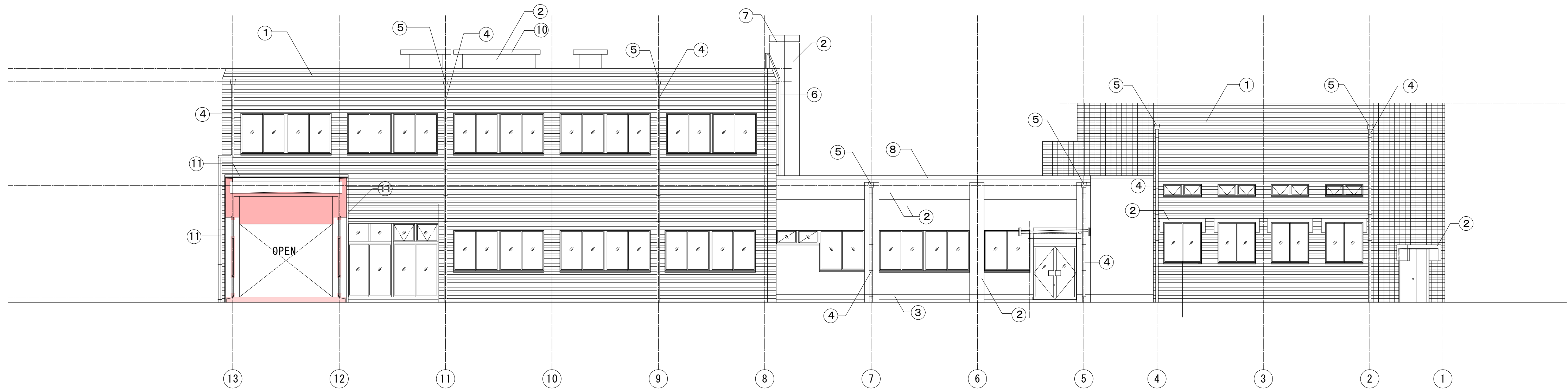
改修前 R階平面図 S=1/100

改修前 凡例	
①	既存防水層の上ゴムシート防水
②	立上り・排水溝ゴムシート防水、端末アルミ押えアングル 撤去
③	既存防水モルタル塗下地 ケラタン塗膜防水
④	先端既存磁器タイル下地 ケラタン塗膜防水
⑤	既存防水モルタル塗下地 リン吹付
⑥	横引ルーフトレーンキャップ 撤去
⑦	飾り樹：銅板加工の上 VP 取外し保管
⑧	スチールラップ 撤去

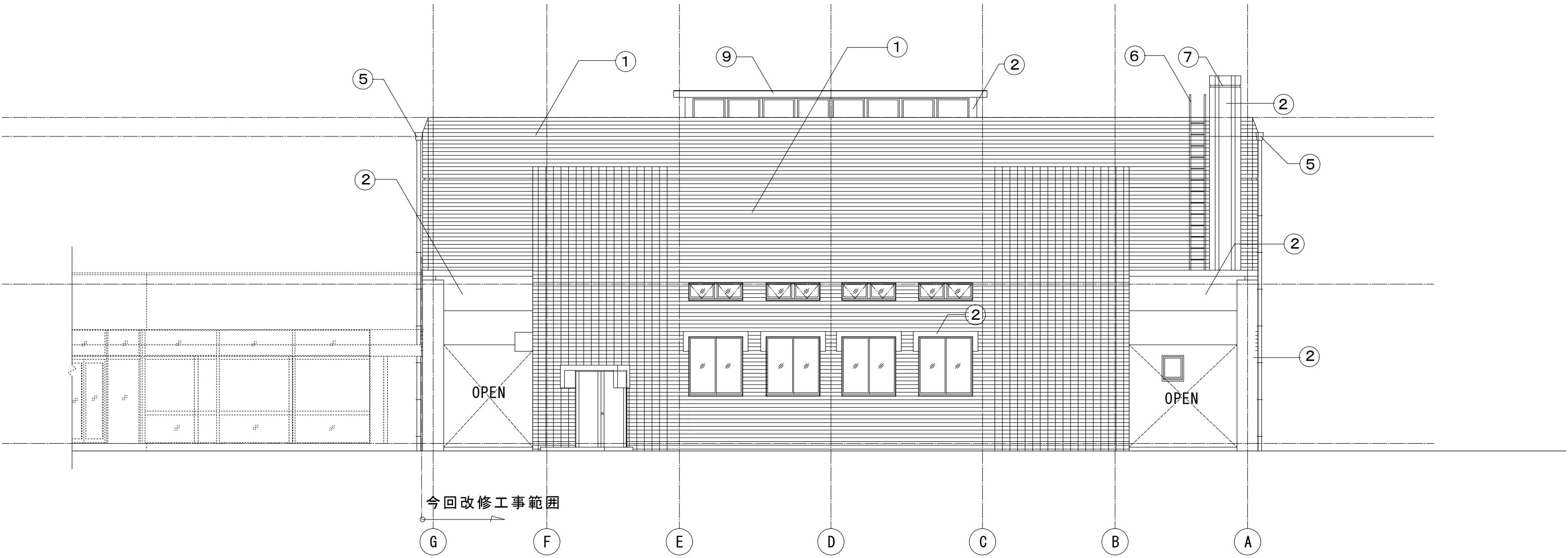


改修前西立面図 S=1/100

改修前 外部仕上 凡例	
取外し、撤去工事区分	
①	モルタル塗下地 47二丁掛磁器タイル貼
②	モルタル刷毛引アクリリシン吹付
③	根廻り：モルタル刷毛引
④	縦樋：硬質塩ビ管 100φ 撤去（掴み金物共）
⑤	飾り樹：銅板0.5d加工 取外し保管
⑥	スチールラップ 撤去
⑦	モルタル VP
⑧	ウレタン塗膜防水
⑨	アルミハンドレール
⑩	防水モルタル塗
⑪	EXP.ジャッキ 撤去

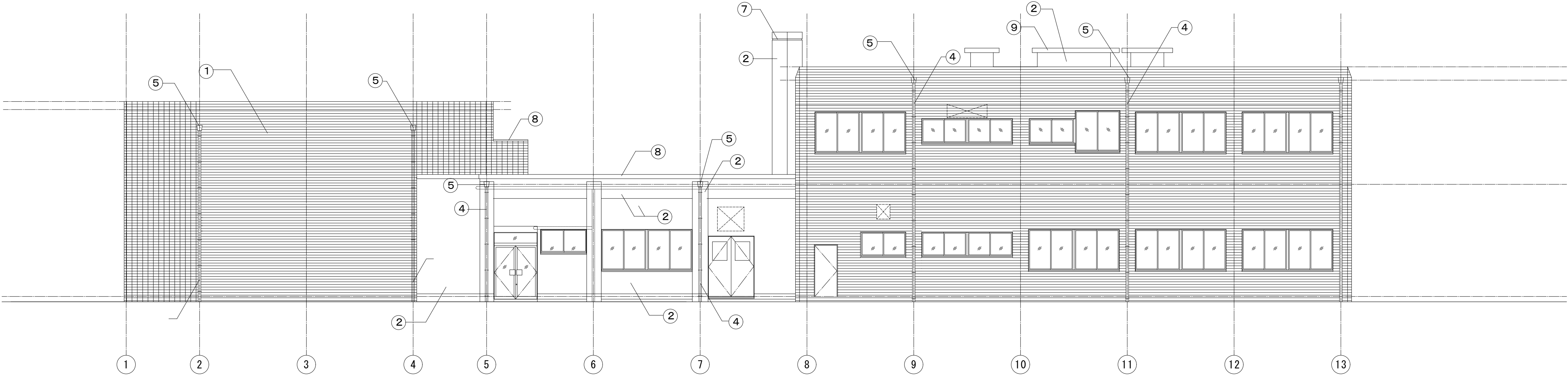


改修前南立面図 S=1/100

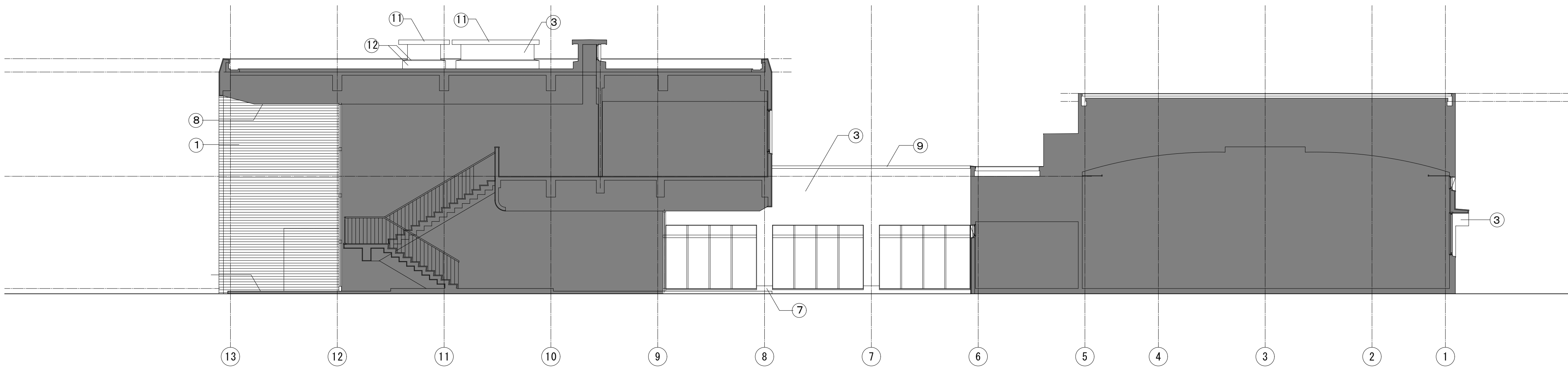


改修前 東立面図 S=1/100

改修前 凡例	
取外し、撤去工事区分	
①	モルタル塗下地 47ニ丁掛磁器タイル貼
②	モルタル刷毛引/アクリリシン吹付
③	根廻り：モルタル刷毛引
④	縦樋：硬質塩ビ管 100φ 撤去（掴み金物共）
⑤	飾り樹：銅板0.5d加工 取外し保管
⑥	スチールラップ 撤去
⑦	モルタル VP
⑧	ウレタン塗膜防水
⑨	防水モルタル塗

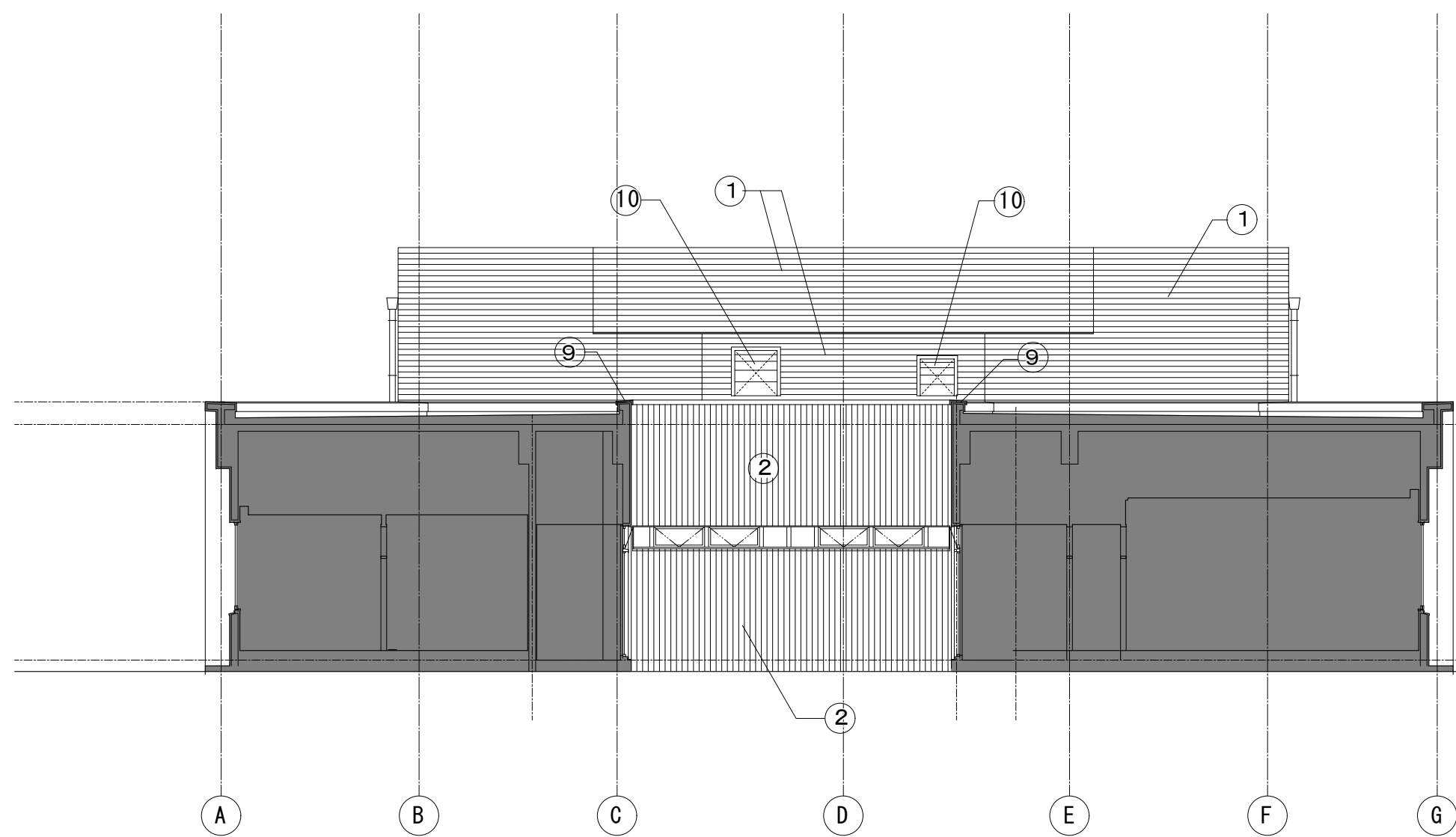


改修前 北立面図 S=1/100

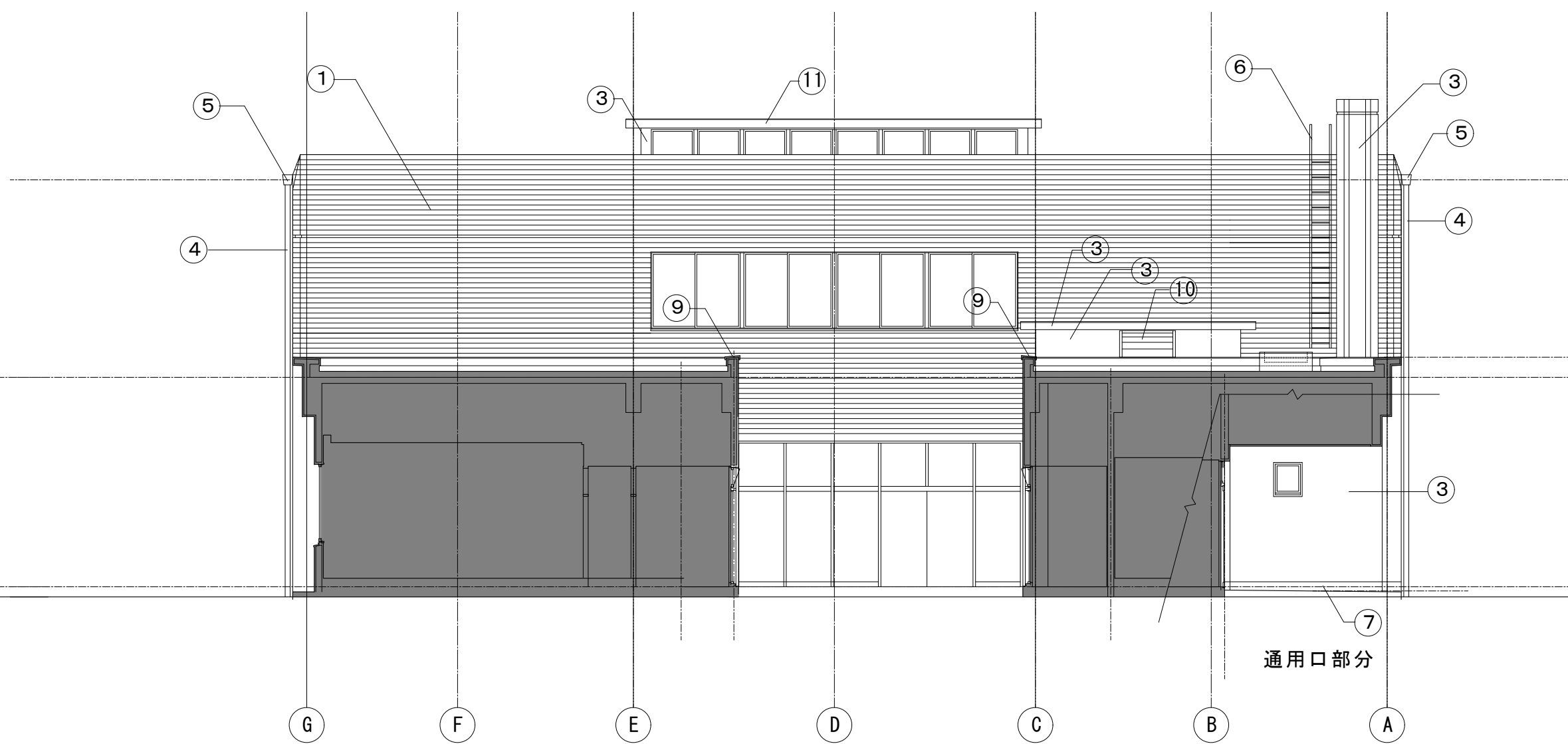


改修前断面図(1) S=1/100

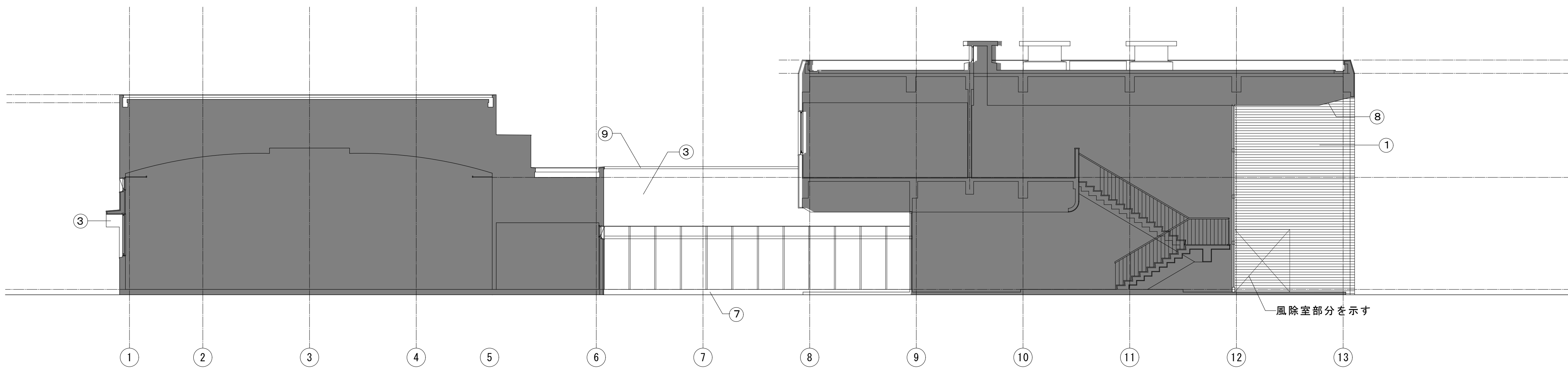
改修前 外部仕上凡例	
取外し、撤去工事区分	
①	モルタル塗下地 47二丁掛磁器タイル貼
②	モルタル塗下地 装飾タイル貼
③	モルタル刷毛引アクリルシン吹付
④	縦樋：硬質塩ビ管 100φ 撤去
⑤	飾り樹：銅板0.5d加工 取外し保管
⑥	スチールラック 撤去
⑦	根廻り：モルタル刷毛引
⑧	軒天：アルミパンドレル
⑨	アルミ笠木 撤去
⑩	ステンレスワイヤーカーブ 取外し保管
⑪	防水モルタル塗
⑫	ゴムシート防水



改修前断面図(2) S=1/100



改修前断面図(3) S=1/100

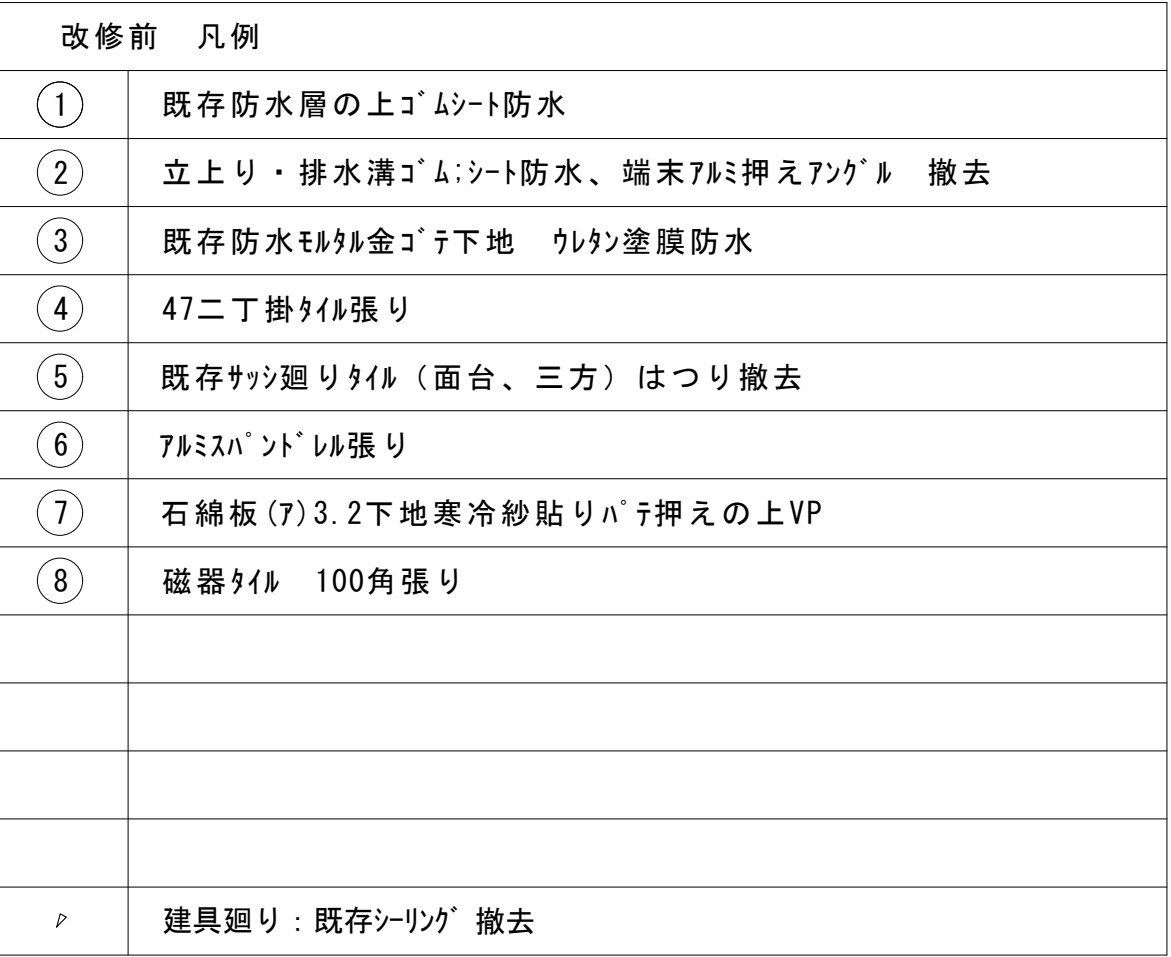


改修前断面図(4) S=1/100

久留米市都市建設部建築課

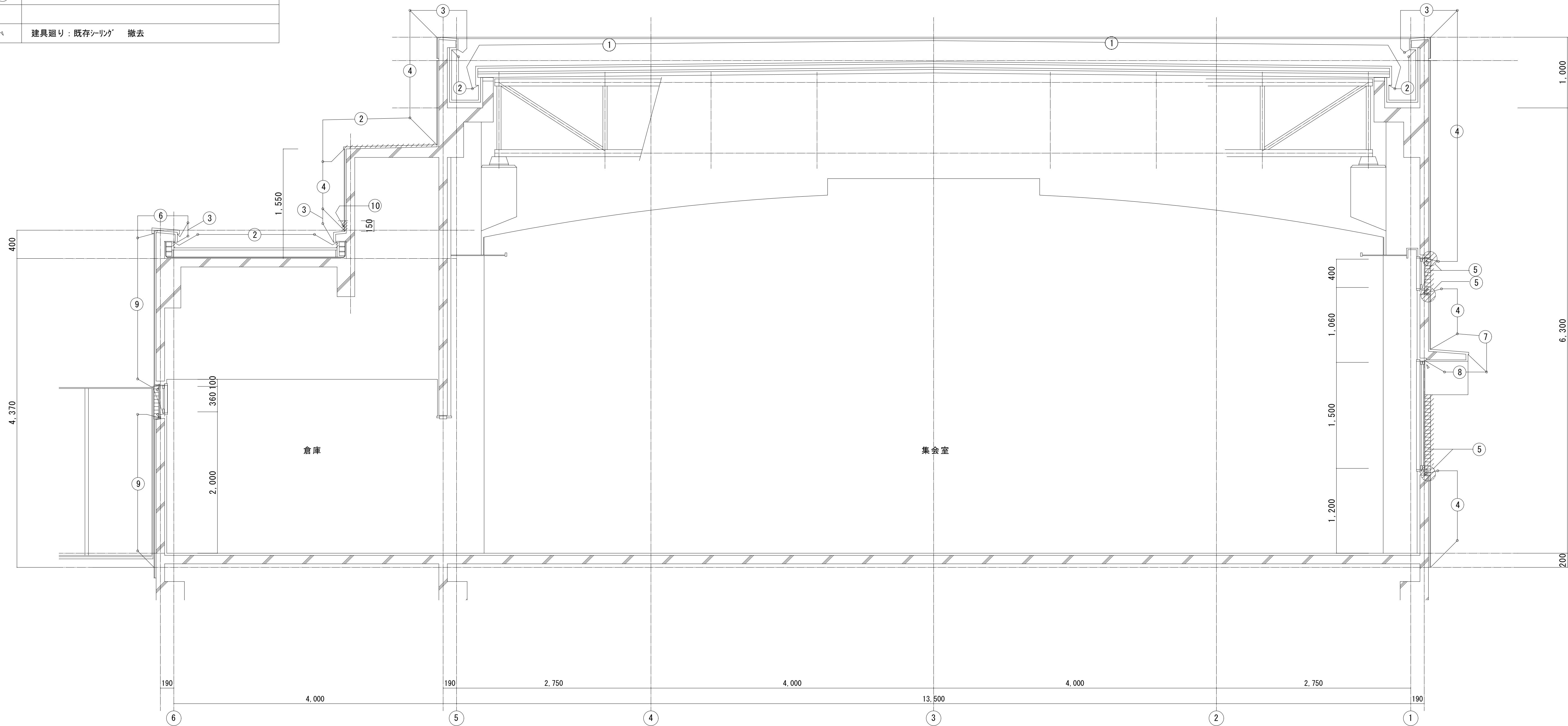
工事名	三瀬農村環境改善センター 外部改修工事
図面名	改修前 断面図

縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200	年月日	2014. 02	図面 No.	
		設計担当			



改修前 B ~ B 矩計図 S=1/30

改修前 矩計図 凡例	
①	アスファルト防水層軽量コンクリート押え防水モルタル塗の上 ウレタン塗膜防水
②	シート防水下地ウレタン塗膜防水 一部ウレタン塗膜除去 立上り防水層撤去
③	防水モルタル塗下地 ウレタン塗膜防水
④	47ニ丁掛タイル張り
⑤	既存サッシ廻りタイル（四方）はつり撤去
⑥	アルミ笠木 撤去
⑦	防水モルタル下地アクリリシ
⑧	モルタル下地アクリリシ
⑨	装飾タイル貼り
⑩	タイル カッター入れはつり撤去 H=150
▽	建具廻り：既存ソーリング 撤去



改修前 C～C矩計図 S=1/30

久留米市都市建設部建築課

工事名	三猪農村環境改善センター 外部改修工事
図面名	改修前 C～C矩計図

縮尺	A1:S=1/30 A3:S=1/60	年 月 日	2014. 02	図面 NO
		設計担当		

A	13
---	----

Architectural section drawing of a building interior, showing a cross-section through a corridor and a study room. The drawing includes dimensions, level markers, and numbered callouts (1-7) indicating specific construction details.

Dimensions:

- Overall width: 6,500
- Overall height: 4,170
- Corridor width: 2,000
- Study room width: 4,500
- Study room height: 1,500
- Corridor height: 750
- Staircase width: 240

Level Markers:

- ▽2FL 400
- ▽1FL 200
- ▽GL 200

Room Labels:

- 中庭 (Courtyard)
- 廊下(1) (Corridor 1)
- 踏込 (Staircase)
- 第3研修室 (Study Room 3)

Callouts:

- 1: Ceiling structure
- 2: Wall structure
- 3: Floor structure
- 4: Window structure
- 5: Door structure
- 6: Staircase structure
- 7: Roof structure

240

[illegible]

Architectural section drawing (A) showing a cross-section of a building facade. The drawing includes dimensions and callouts for various components.

Dimensions:

- Overall height: 3,930
- Overall width: 1,000
- Section 1 (Left): 500 (top), 350 (middle), 950 (bottom)
- Section 2 (Right): 750 (top), 620 (middle), 2,900 (bottom)
- Section 3 (Bottom): 100 (left), 200 (right)

Callouts:

- 1: Window frame
- 2: Window pane
- 3: Window sill
- 8: Wall structure
- 11: Wall structure
- 9: Staircase
- 10: Staircase

Labels:

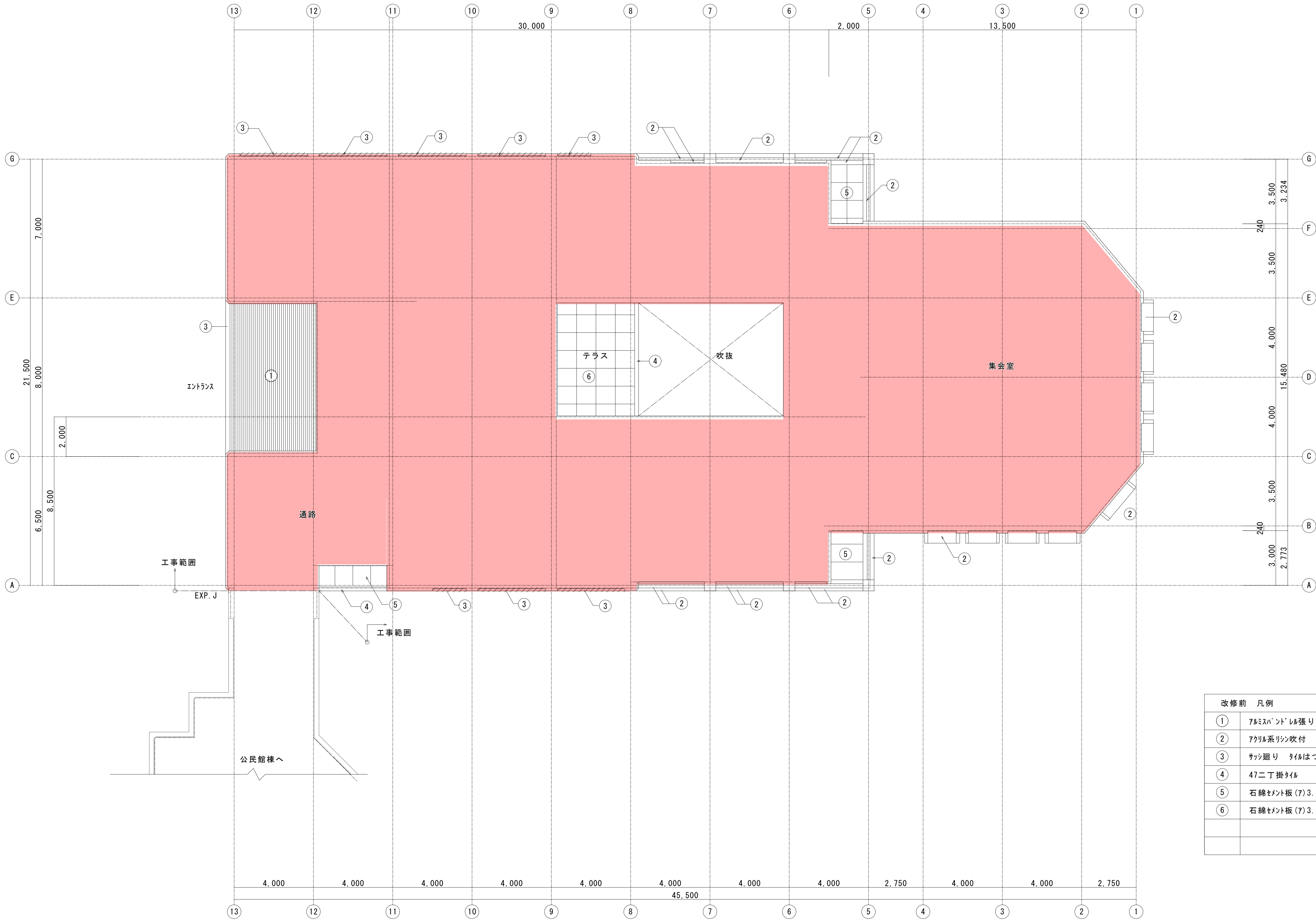
- 第1研修室 (Room 1 Study Room)
- 通路 (Passage)
- 中庭 (Courtyard)

工事名	三猪農村環境改善センター 外部改修工事
図面名	改修前 D～D、E～E、X～X 矩計図

縮尺	A1:S=1/30 A3:S=1/60
----	------------------------

年. 月. 日.	2014. 02
設計担当	

圖號 NO.	
--------	--



工事範囲

エントランス

通路

テラス

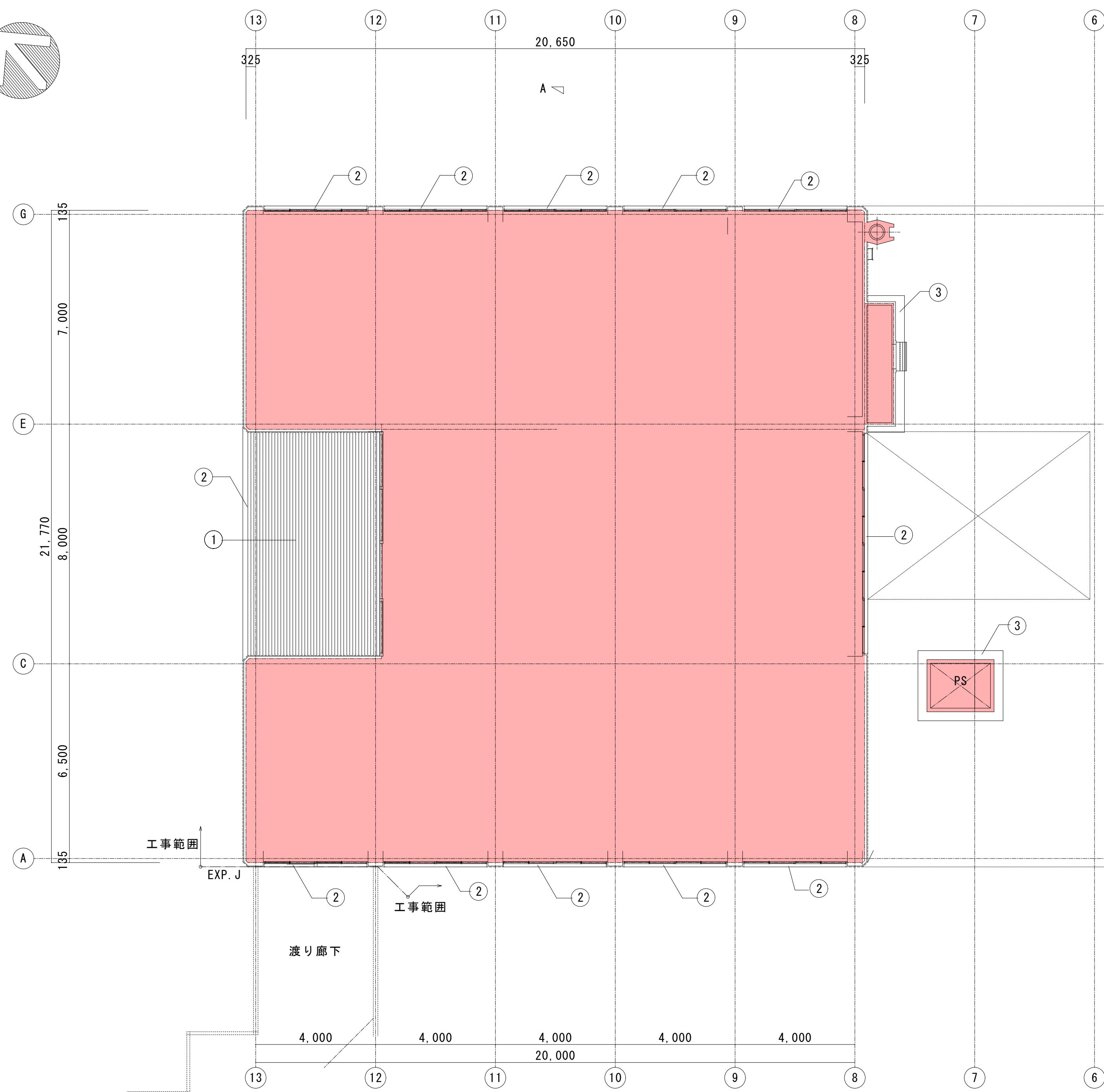
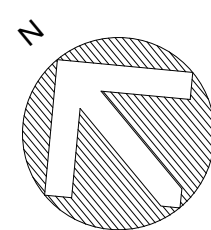
吹抜

集会室

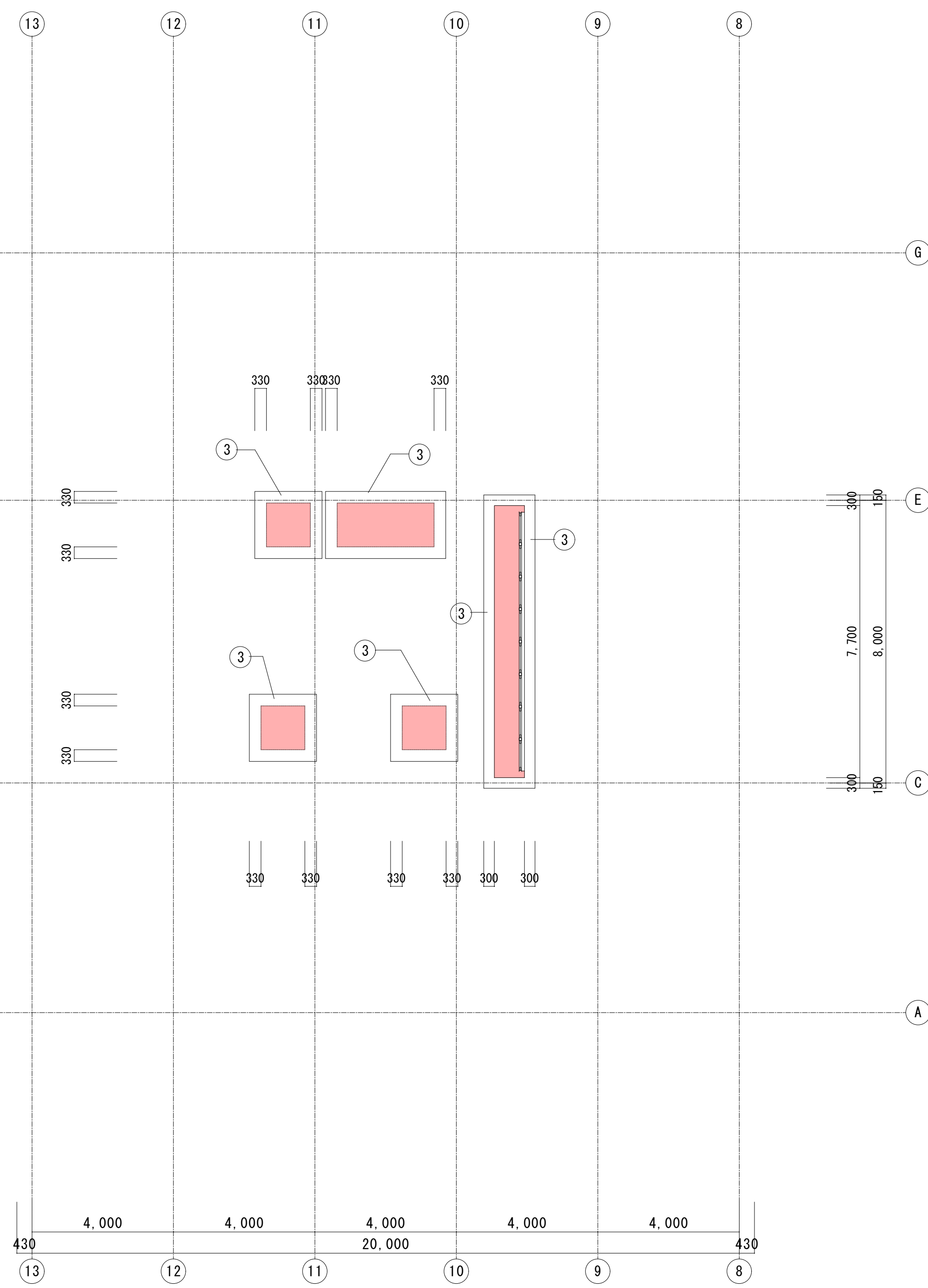
公民館棟へ

改修前 1階天井伏図 S=1/100

改修前 凡例	
①	アルミサッシの網張り
②	アクリル系リシン吹付
③	サッシ廻り タイルはつり撤去
④	47ニ丁掛タイル
⑤	石綿セメント板(7)3.2 目透かしの上VP
⑥	石綿セメント板(7)3.2 寒冷紗ハッチ押えの上VP塗装吹付

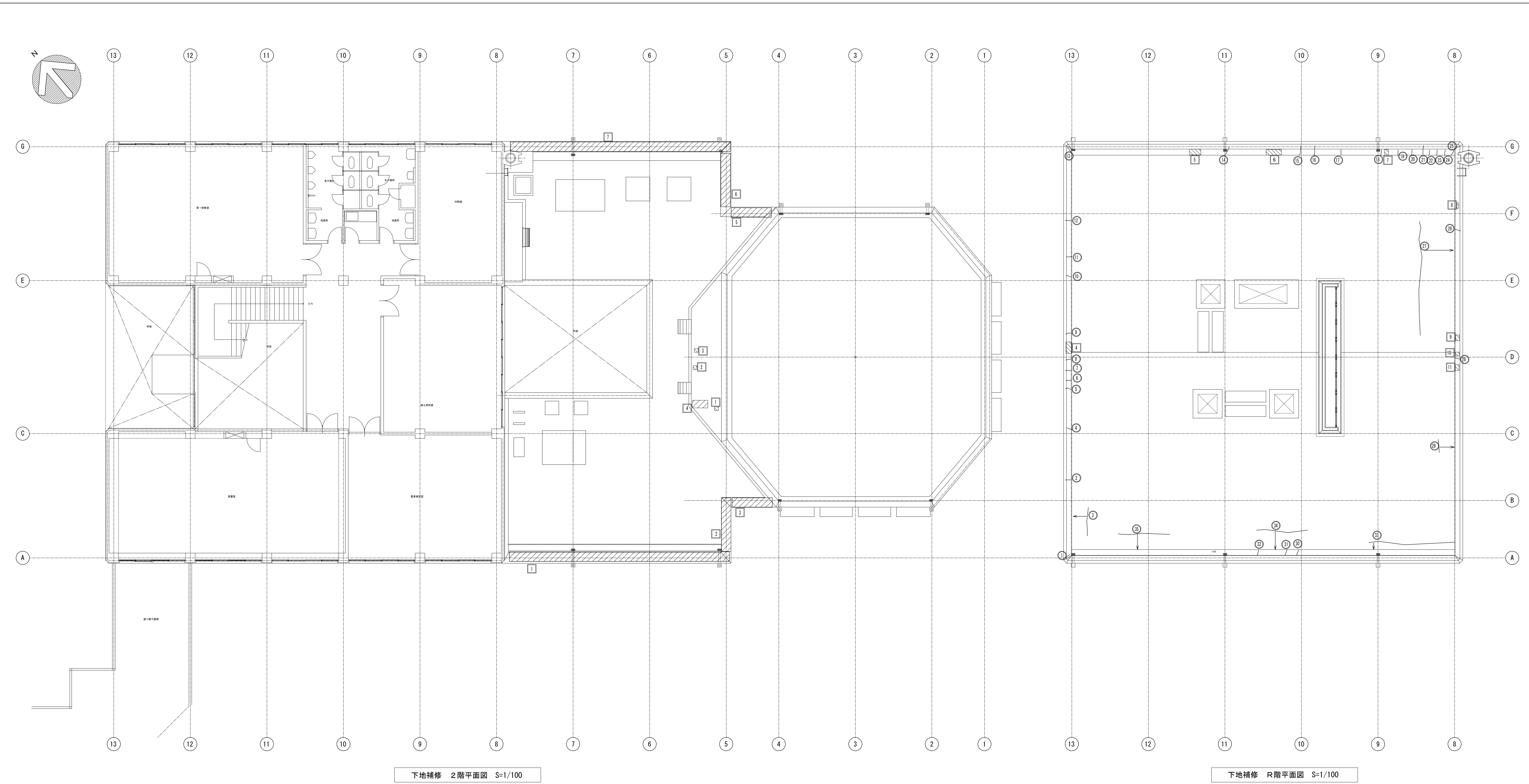


改修前 2階天井伏図 S=1/100



改修前 R階天井伏図 (PS軒裏) S=1/100

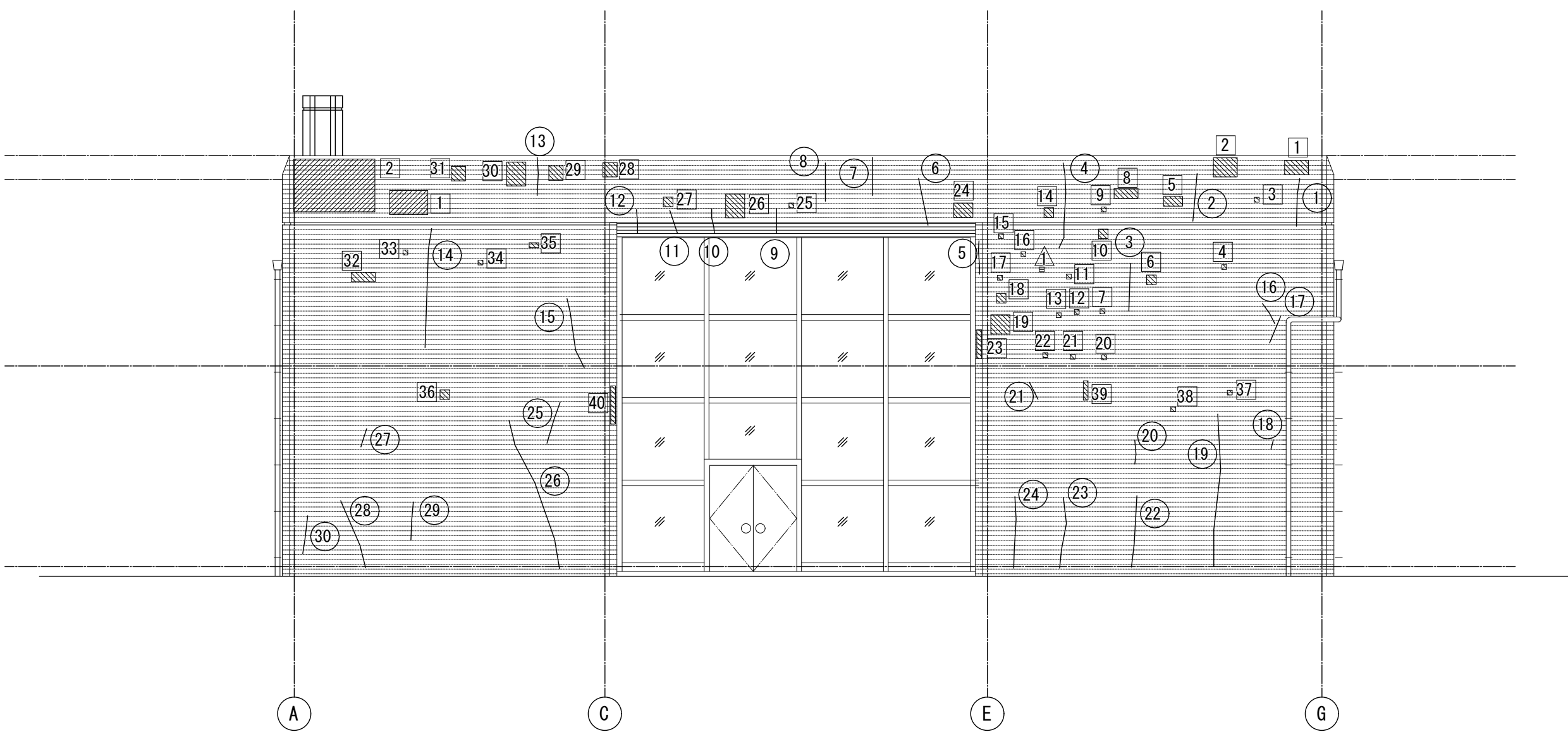
改修前 凡例	
①	7mmスパンボード張り
②	47mm丁掛タイル 既存タイル廻りタイル(面台、三方)はつり撤去
③	モルタル刷毛引7mmシリコン吹付



下地補修 2階平面図 S=1/100

下地補修 R階平面図 S=1/100

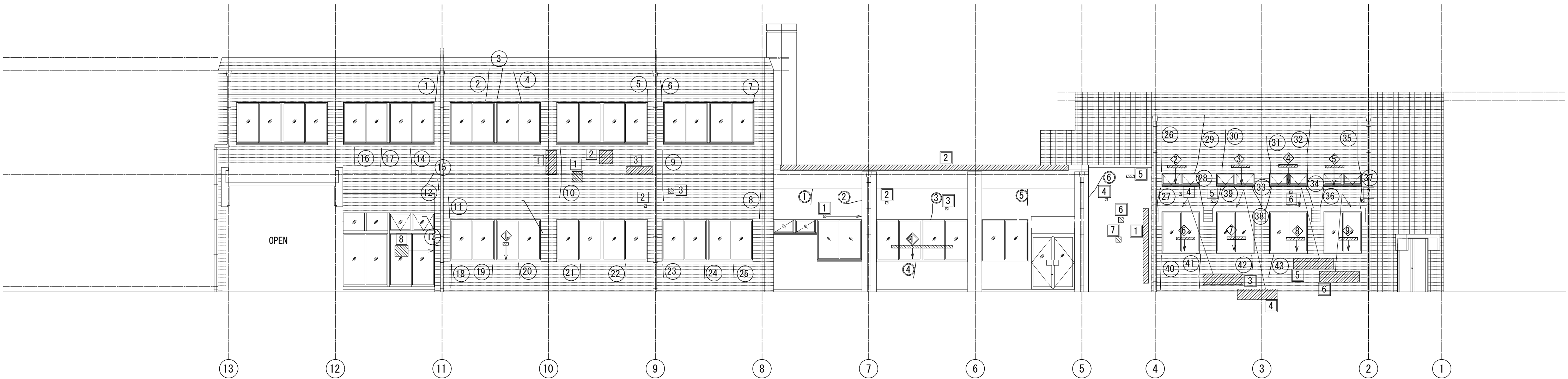
場所	劣化症状	改修工法	使用材料	記号	凡例	参考数量
平面	モルタルひび割れ	Uカットシーリング充填工法	ウレタンシーリング・ポリマーセメント	① ～ ③⑤		27.60m
	モルタル浮き 0.25㎡未満	ｱﾝｶｰﾍﾞﾝﾈﾝｸﾞ 部分1球 ｷﾞｯｼﾞ樹脂注入工法	エポキシ樹脂・ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰﾍﾞﾝ 全ねじ	⑩ ～ ⑦		0.97㎡
	モルタル浮き 0.25㎡以上	ｱﾝｶｰﾍﾞﾝﾈﾝｸﾞ 全面1球 ｷﾞｯｼﾞ樹脂注入工法	エポキシ樹脂・ｽﾃﾝﾚｽｱﾝｶｰﾍﾞﾝ 全ねじ	⑩ ～ ⑪		16.72㎡



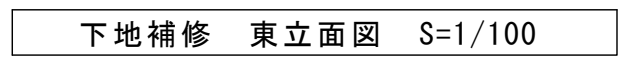
下地補修 西立面図 S=1/100

面名	劣化症状	改修工法	使用材料	記号	凡例	参考数量
西面	タイルひび割れ	現況のまま		○	〰	32.50m
	タイル浮き 0.25㎡未満	アンカベ'ンニング' 部分球' 杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアンカベ'ン全ねじ	□	〰	2.20㎡
	タイル浮き 0.25㎡以上	アンカベ'ンニング' 全面球' 杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアンカベ'ン全ねじ	□	〰	2.27㎡
	タイル欠損 0.1×0.1	現況のまま		△	〰	1ヶ所

面名	劣化症状	改修工法	使用材料	記号	凡例	参考数量
南面	タイルひび割れ	現況のまま		○	〰	41.67m
	タイル浮き 0.25㎡未満	アンカベ'ンニング' 部分球' 杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアンカベ'ン全ねじ	□	〰	0.46㎡
	タイル浮き 0.25㎡以上	アンカベ'ンニング' 全面球' 杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアンカベ'ン全ねじ	□	〰	0.91㎡
	モルタル浮き 0.25㎡未満	アンカベ'ンニング' 部分球' 杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアンカベ'ン全ねじ	□	〰	0.15㎡
	モルタル浮き 0.25㎡以上	アンカベ'ンニング' 全面球' 杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアンカベ'ン全ねじ	□	〰	5.12㎡
	タイル浮き 狭幅部 0.25㎡未満	アンカベ'ンニング' 部分球' 杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアンカベ'ン全ねじ	◇	〰	5.80m
	モルタル浮き 狭幅部 0.25㎡未満	アンカベ'ンニング' 部分球' 杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアンカベ'ン全ねじ	◇	〰	2.30m
	モルタルひび割れ	Uカットシーリング充填工法	ウレタンシーリング・ポリマーセメント	○	〰	4.00m

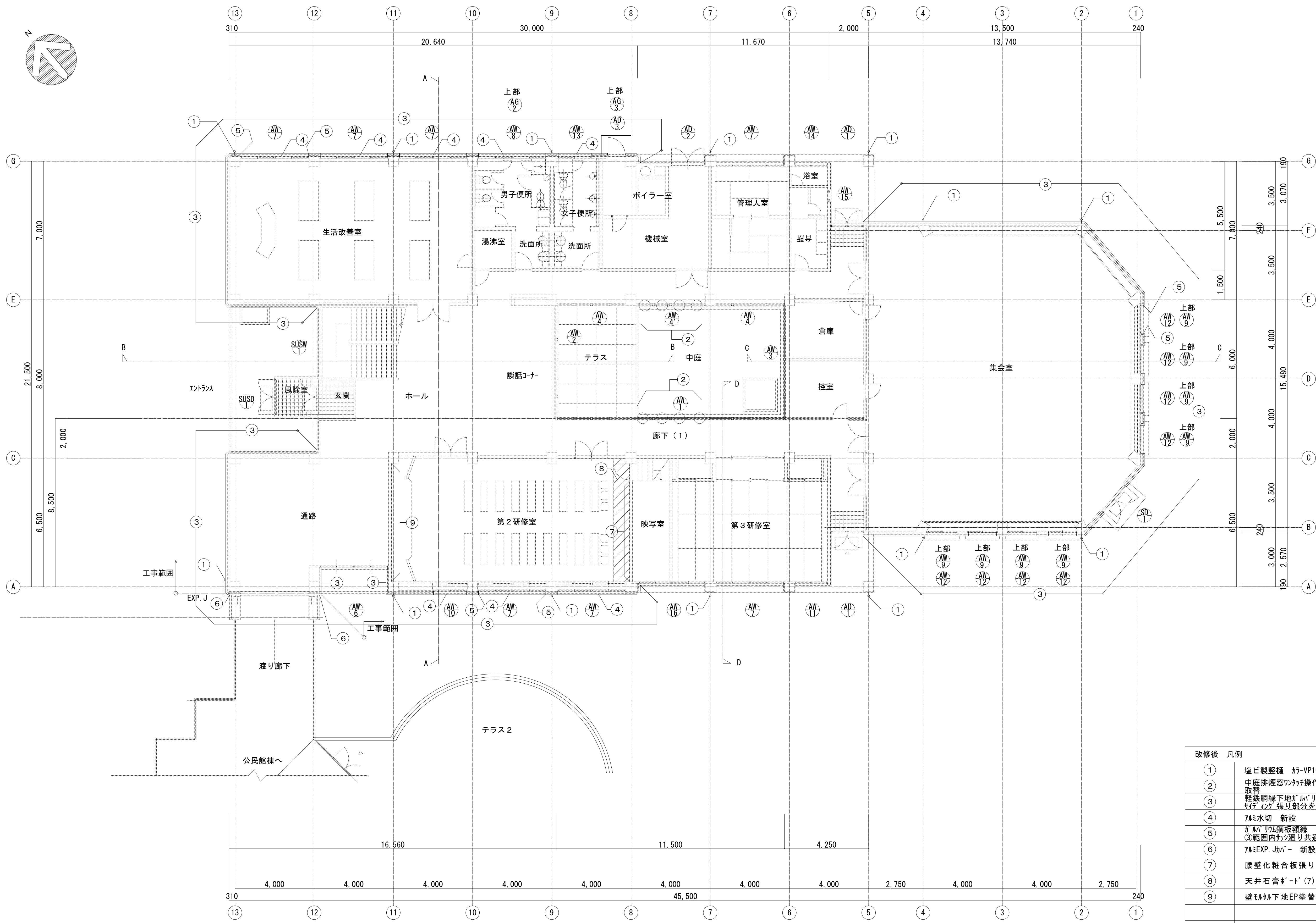


下地補修 南立面図 S=1/100



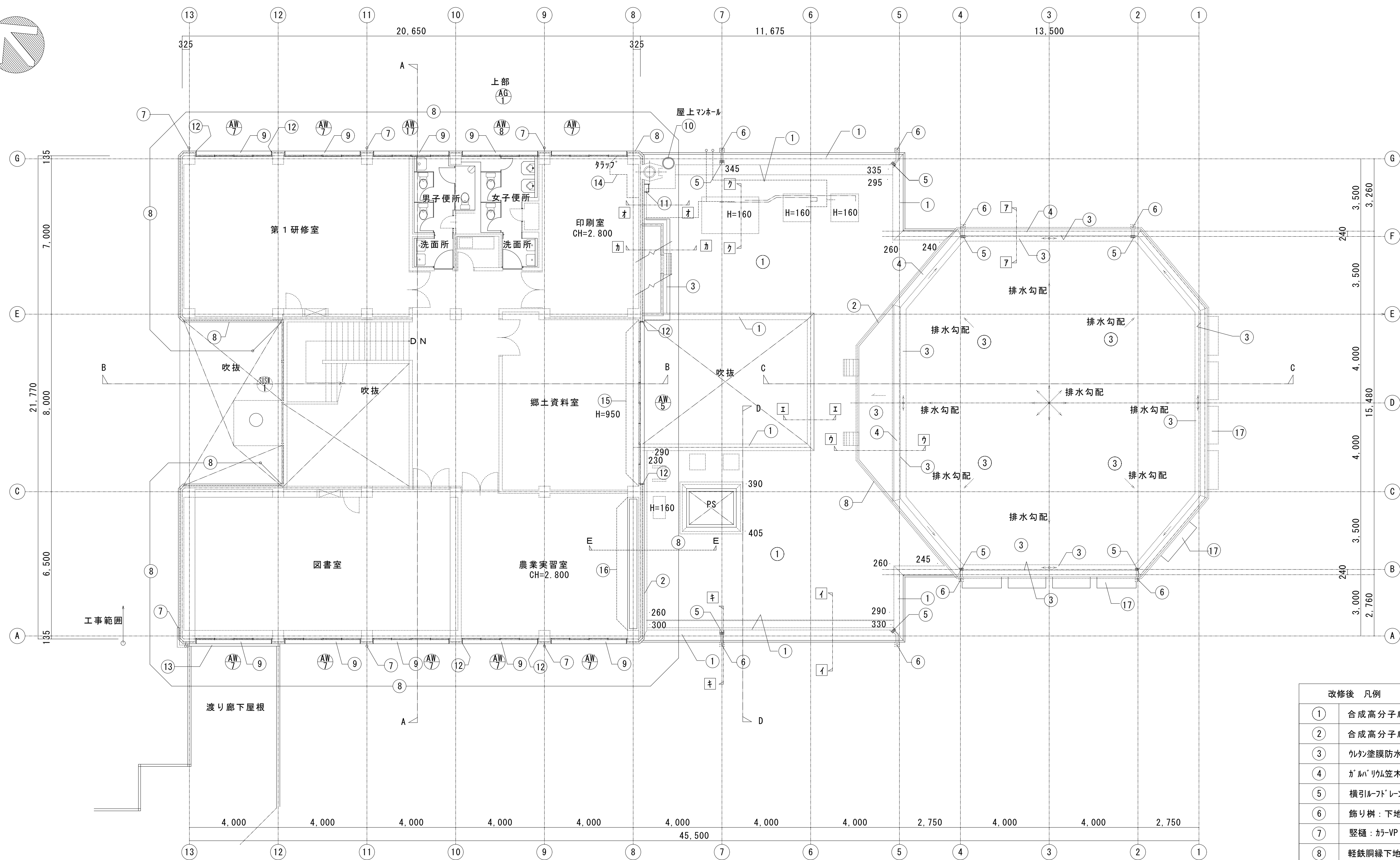
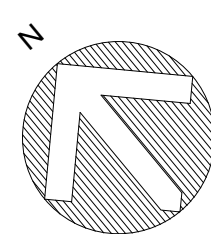
下地補修 北立面図 S=1/100

面 名	劣化症状	改 修 工 法	使 用 材 料	記号	凡 例	参考数量
北 面	タイルひび割れ	現状のまま		○		60, 80m
	タイル浮き 0.25㎡未満	アポビノン®部分球®杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアポビン®全ねじ			1, 87㎡
	タイル浮き 0.25㎡以上	アポビノン®全面球®杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアポビン®全ねじ			0, 80㎡
	モルタル浮き 0.25㎡未満	アポビノン®部分球®杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアポビン®全ねじ			1, 11㎡
	モルタル浮き 0.25㎡以上	アポビノン®全面球®杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアポビン®全ねじ			1, 14㎡
	タイル浮き 狭幅部 0.25㎡未満	アポビノン®部分球®杉樹脂注入工法	エポキシ樹脂・スチルスアポビン®全ねじ			4, 0m
	モルタル欠損 1.0×0.1	欠損部充填工法	ポリマーセメントモルタル			1ヶ所
	モルタルひび割れ	ウレタンシーリング充填工法	ウレタンシーリング・ポリマーセメント			4, 40m



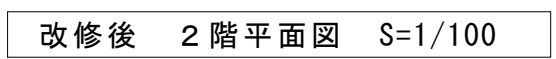
改修後 1階平面図 S=1/100

改修後 凡例	
①	塩ビ製壁紙 カラ-VP100の新設
②	中庭排煙窓ワンタッチ操作部分 (ラッチ、ダンパー) 取替
③	軽鉄胴縁下地がガルバリウム鋼板 サイディング張り部分を示す
④	アルミ水切 新設
⑤	ガルバリウム鋼板断縁 新設 ③範囲内サッシ廻り共通
⑥	アルミEXP. ジャンパー 新設
⑦	腰壁化粧合板張り 新設 H=950
⑧	天井石膏ボード (7) 9.5下地ビニールクロス 新設
⑨	壁モルタル下地EP塗替え H=1,750
	各部断面図切断位置を示す



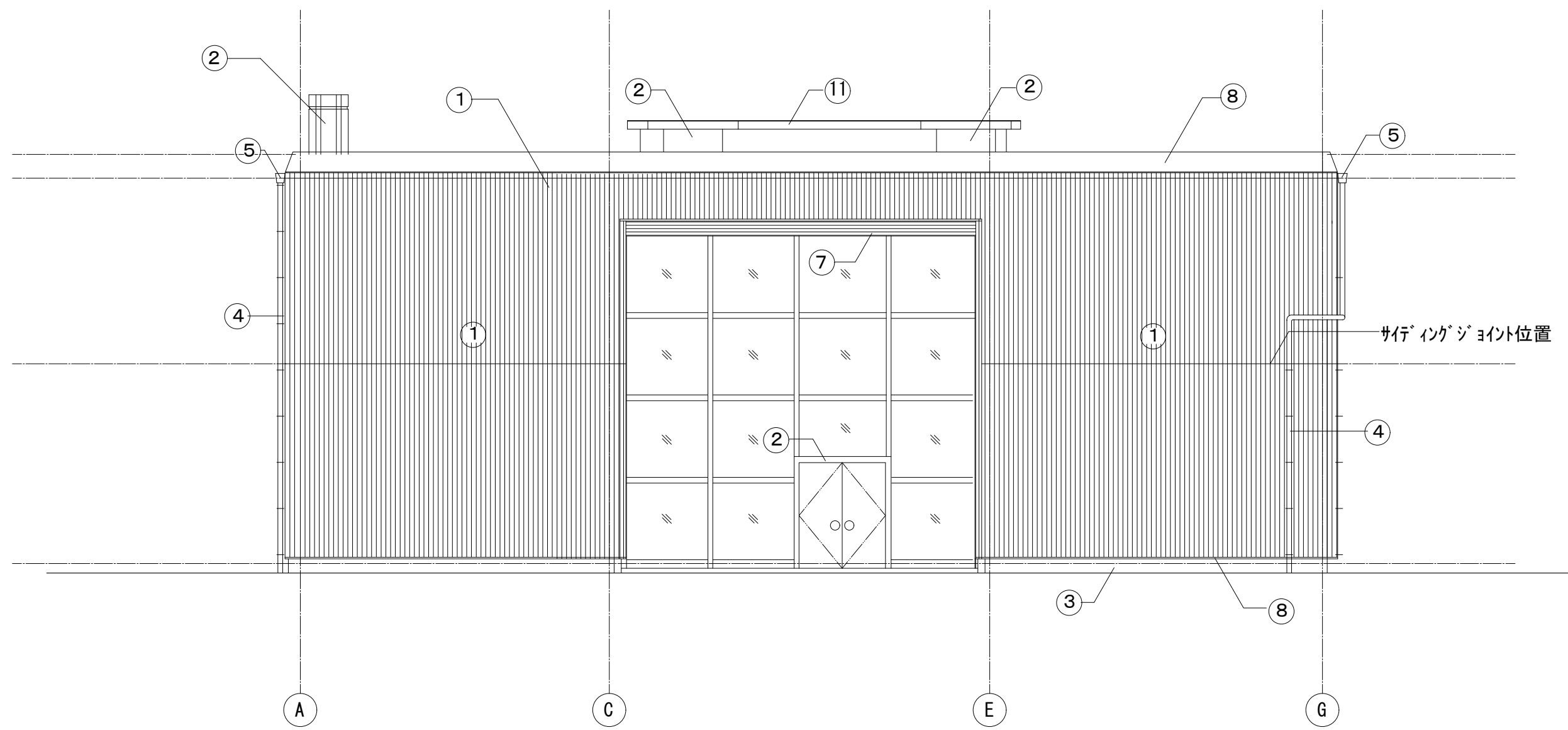
改修前 2階平面図 S=1/100

改修後 凡例	
①	合成高分子ルーフィングシート防水 (S-M2) 新設
②	合成高分子ルーフィングシート防水 (S-F2) 新設
③	ウレタン塗膜防水 (X-2工法)
④	ガムリウム笠木
⑤	横引ルーフトレーンキャップ 新設
⑥	飾り樹：下地調整の上DP塗替えの上再取付
⑦	堅樋：カマVP 100φ 新設
⑧	軽鉄鋼線下地ガムリウム鋼板サイディング張り部分を示す
⑨	7mm水切 新設
⑩	屋上マンホール DP塗替え
⑪	ステンレスラップ 新設 L=4,700
⑫	ガムリウム鋼板鋼線 新設 ⑧範囲内サッシ廻り共通
⑬	7mmEXP. Jカマ 新設
⑭	壁クラック摺り込み補修の上EP塗
⑮	腰化粧合板 新設 H=950
⑯	壁ムシ下地EP塗替え 流し下家具引き戸新設
⑰	高圧洗浄 (30~50Mpa) の上防水形複層塗材 E



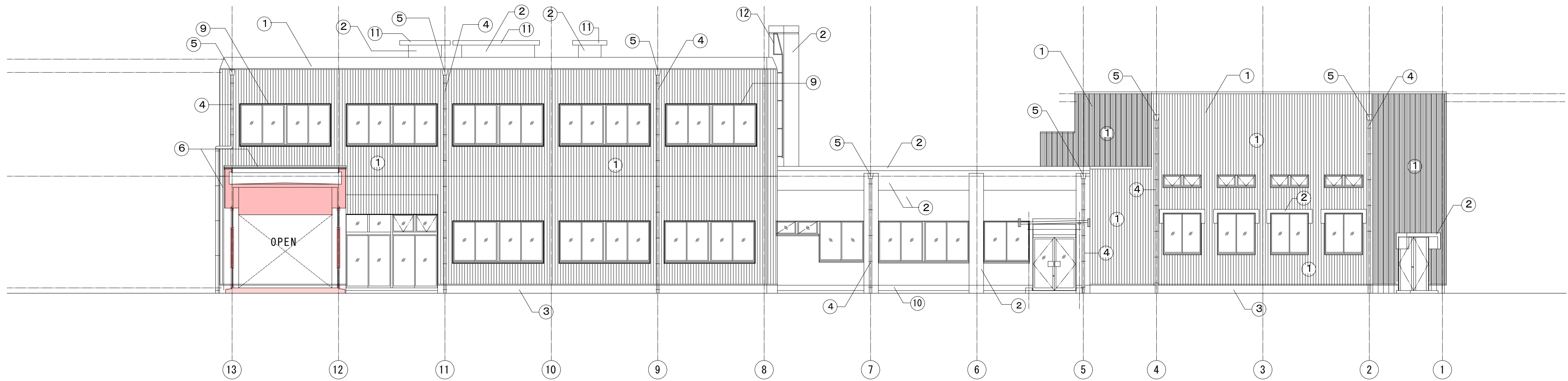
工事名	三猪農村環境改善センター 外部改修工事
図面名	改修後 R階平面図

縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200	年、月、日	2014.02
		設計担当	

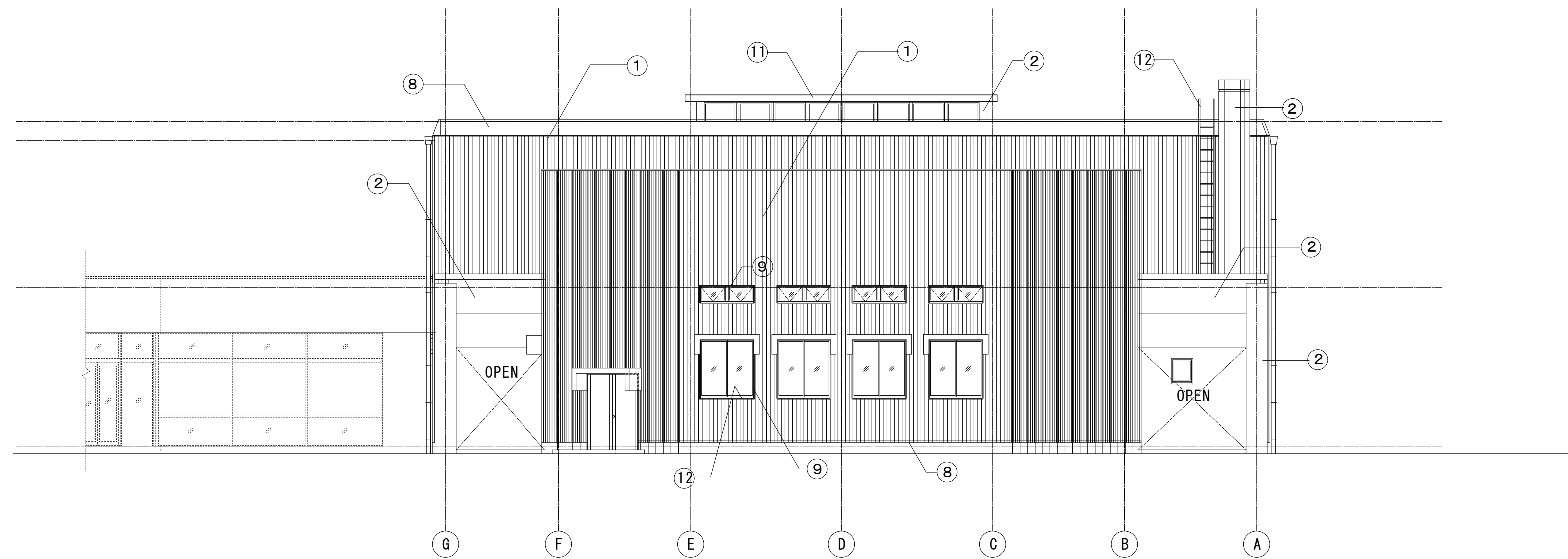


改修後 西立面図 S=1/100

改修後 外部仕上 凡例	
①	軽量鉄骨下地へサ行'カー止め軽鉄胴縁下地が'ルバ'リウム鋼板 サ行'インゲ' t=18
②	高圧洗浄 (10~15Mpa) の上防水形複層塗材E
③	サ行'フィルター'下地複層塗材Eトップ'コート'塗
④	縦樋: カ行'VP 100φ'新設
⑤	飾り'樹': 下地調整の上DP塗替え
⑥	EXP. J 新設
⑦	アルミ'ハンド'ル: 密着用塗料下塗の上DP塗
⑧	笠木、水切: が'ルバ'リウム鋼板 t=0.5曲げ加工
⑨	サ行'廻り': が'ルバ'リウム鋼板 t=0.5曲げ加工三方枠
⑩	複層塗材Eトップ'コート'塗
⑪	ウレタン塗膜防水 (X-2工法)
⑫	ステンレス'スラッ' 新設

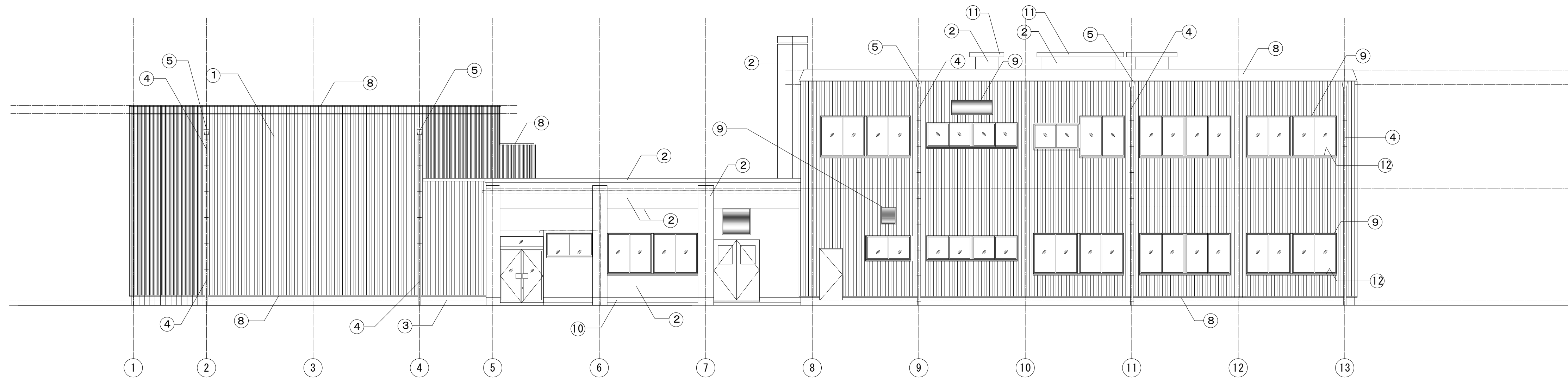


改修後 南立面図 S=1/100

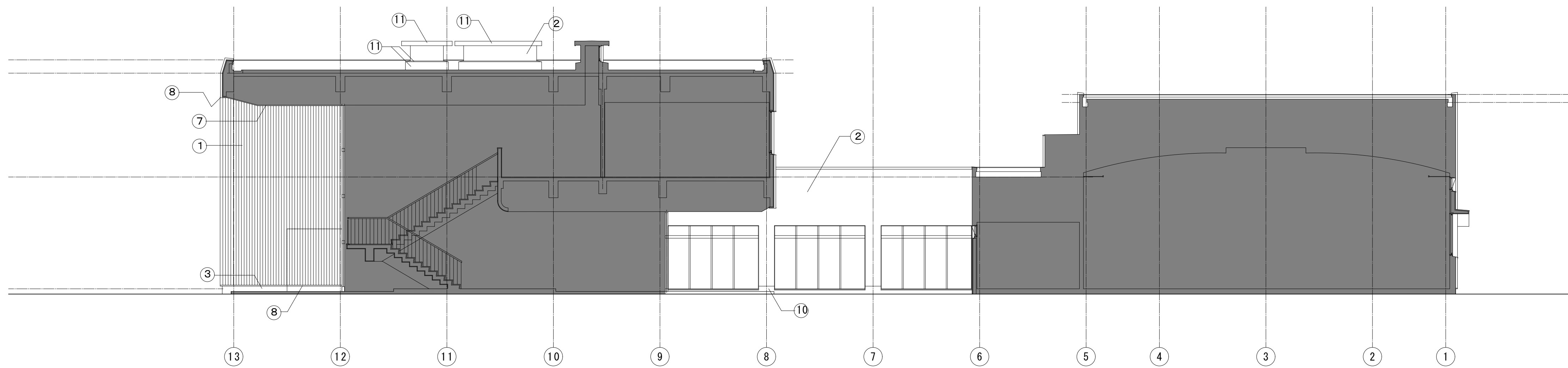


改修後 凡例	
①	軽量鉄骨下地&L7ンカ-止め軽鉄胴縁下地が'ルバ'リウム鋼板 サテン'インク'張り t=18
②	高圧洗浄（10～15Mpa）の上防水形複層塗材E
③	ガオンフィア-下地複層塗材Eトップコート塗
④	縦樋：ｶﾅ-VP 100φ新設
⑤	飾り樹：再取付の上 素地ごしらえ、下地調整の上DP塗替え
⑥	面台：ｱﾙﾐ水切 新設
⑦	ｱﾙﾐﾊﾞﾝﾄﾞﾚﾙ：密着用塗料下塗の上DP塗
⑧	笠木、水切：が'ルバ'リウム鋼板 t=0.35曲げ加工
⑨	サッシ廻り：が'ルバ'リウム鋼板 t=0.5曲げ加工三方枠
⑩	複層塗材Eトップコート塗
⑪	ｸﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2工法)
⑫	ｽﾃﾝﾚｽｸﾗｯﾌﾟ 新設 L=4,700

改修後 東立面図 S=1/100

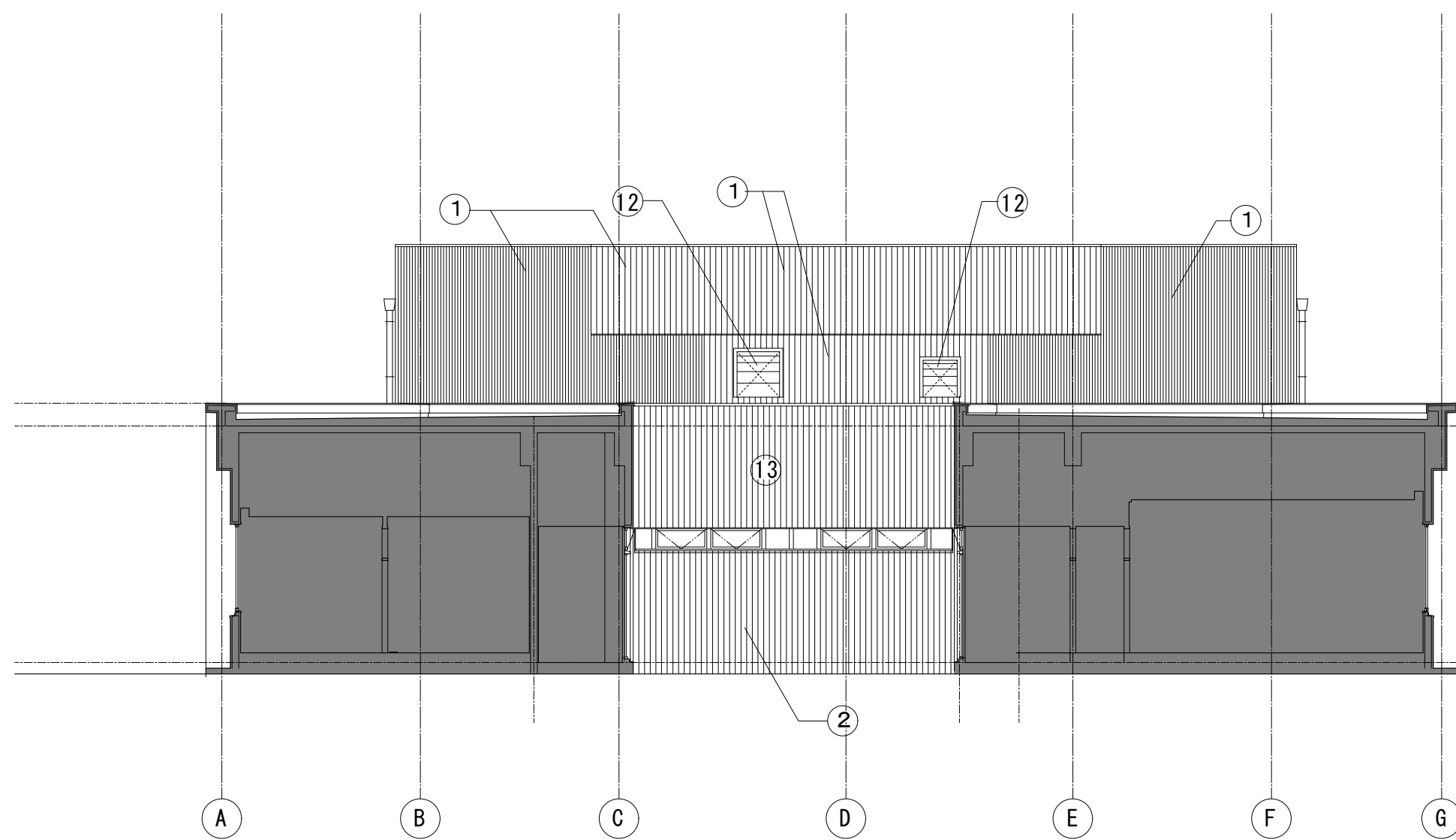


改修後 北立面図 S=1/100

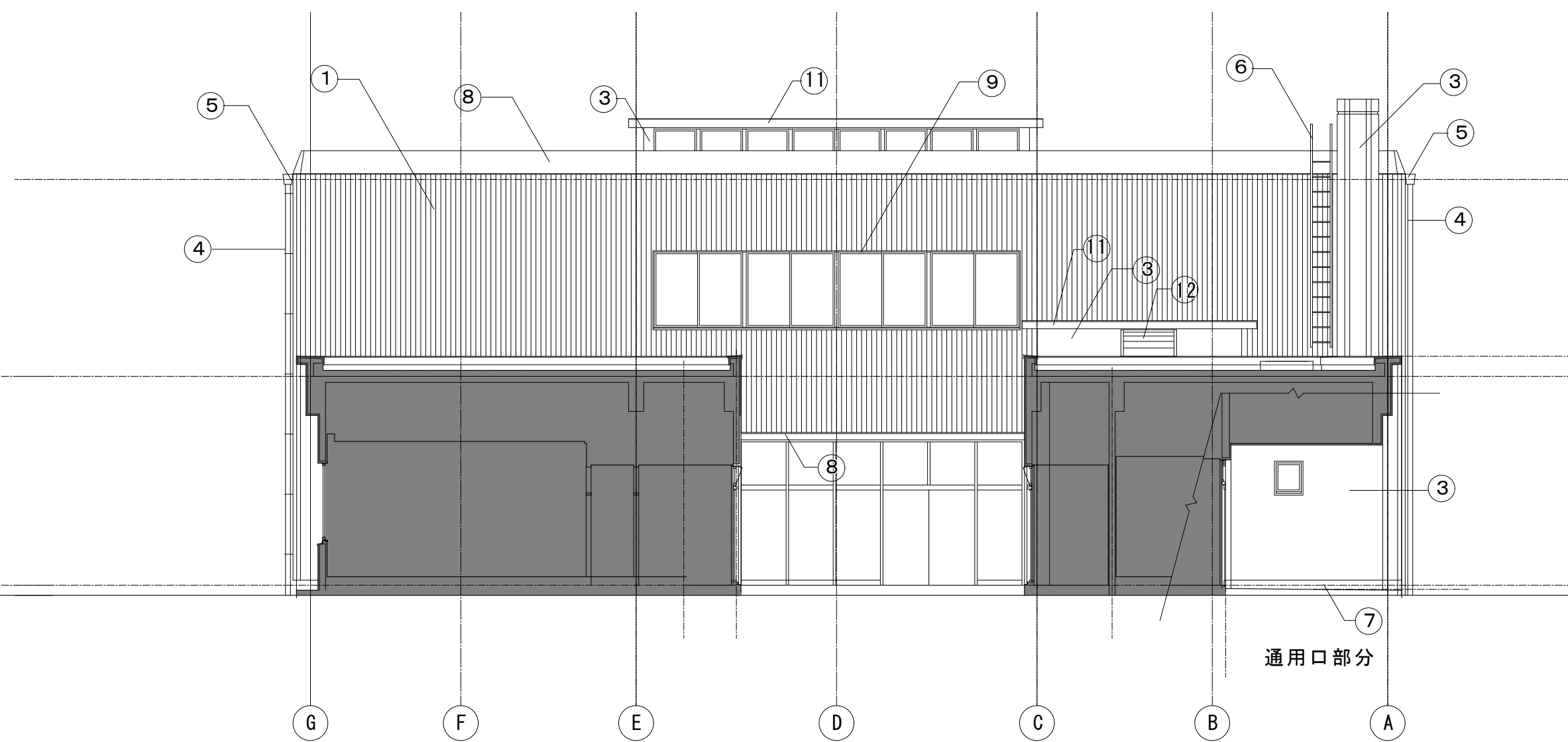


改修後 断面図(1) S=1/100

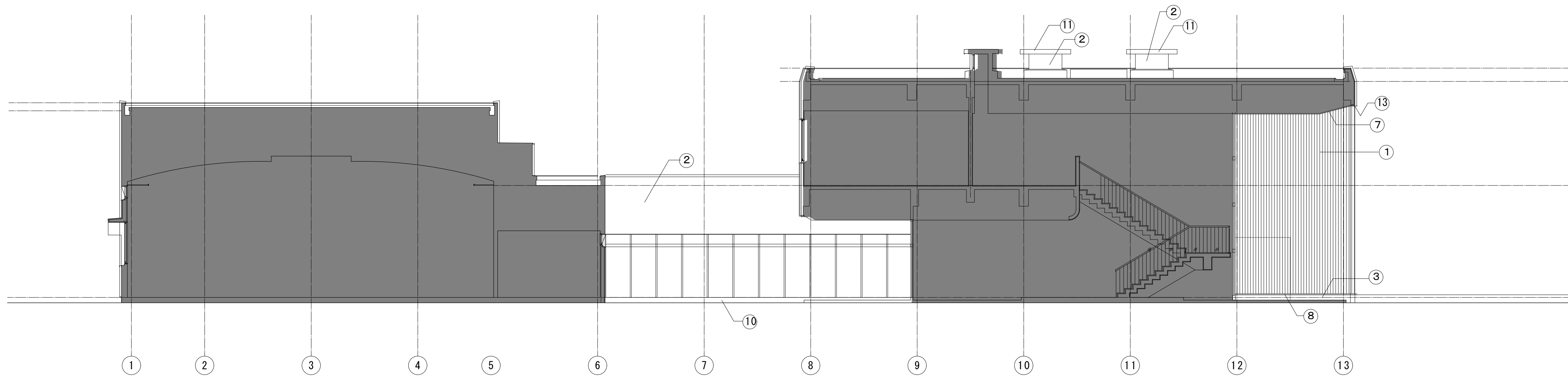
改修後 外部仕上 凡例	
①	軽量鉄骨下地ホルン止め軽鉄胴縁下地ガルバリウム鋼板サイディング t=18
②	高圧洗浄 (10～15Mpa) の上防水形複層塗材E
③	ガワファイラ下地複層塗材Eトップコート塗
④	縦樋：カラVP 100φ新設
⑤	飾り樹：下地調整、DP塗替えの上再取付
⑥	ステンスラップ 新設
⑦	アルミパンドル：密着用塗料下塗の上DP塗
⑧	笠木、水切：ガルバリウム鋼板 t=0.5曲げ加工
⑨	サッシ廻り：ガルバリウム鋼板 曲げ加工三方枠
⑩	複層塗材Eトップコート塗
⑪	ウレタン塗膜防水 (X-2工法)
⑫	ステンス換気フード再取付
⑬	装飾タイル：高圧洗浄 (10～15Mpa)



改修後 断面図(2) S=1/100



改修後 断面図(3) S=1/100

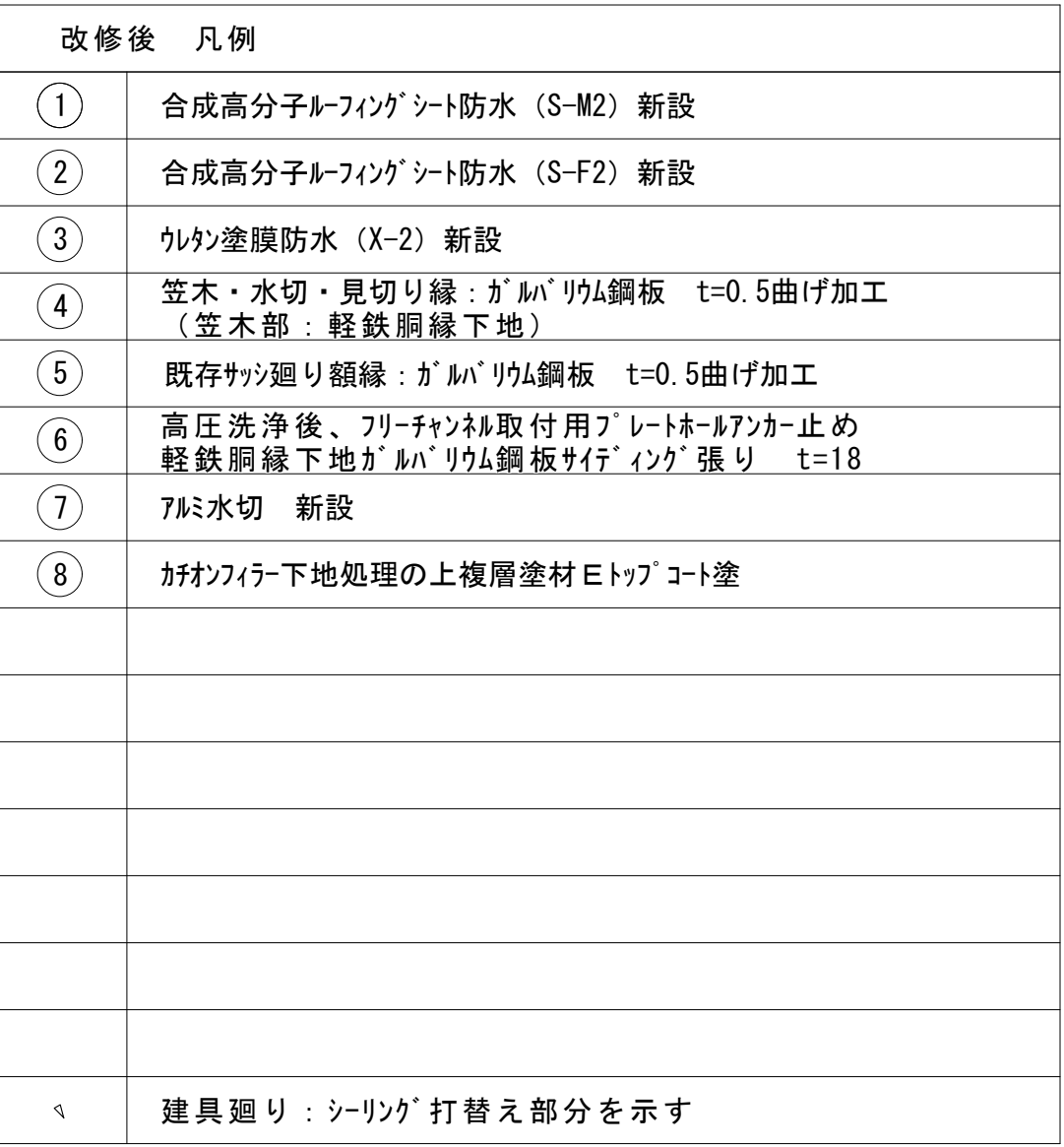


改修後 断面図(4) S=1/100

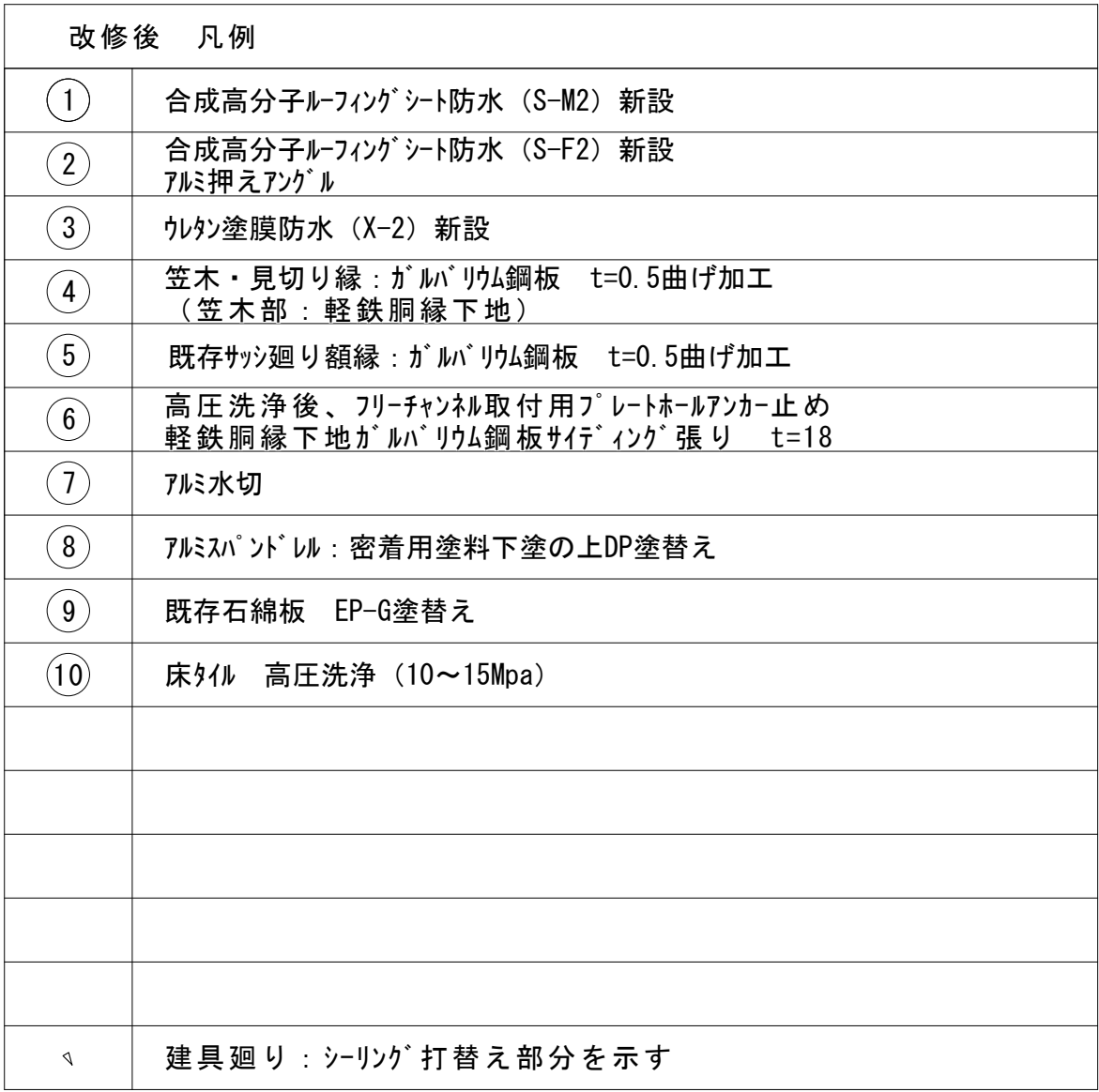
久留米市都市建設部建築課

工事名	三瀬農村環境改善センター 外部改修工事
図説名	改修後 断面図

縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200	年月日	2014. 02	図面 No.
		設計担当		

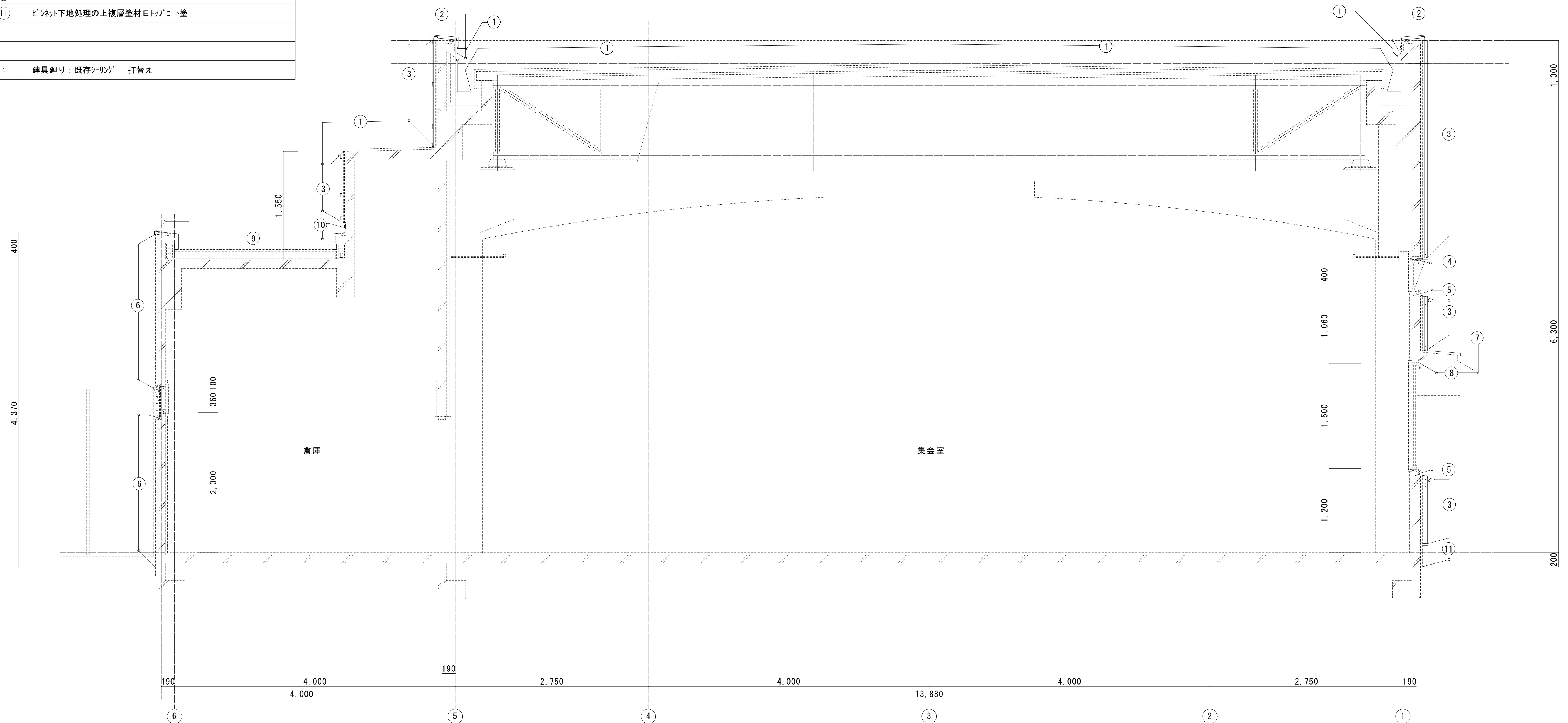


改修後 A ~ A 矩計図 S=1/30

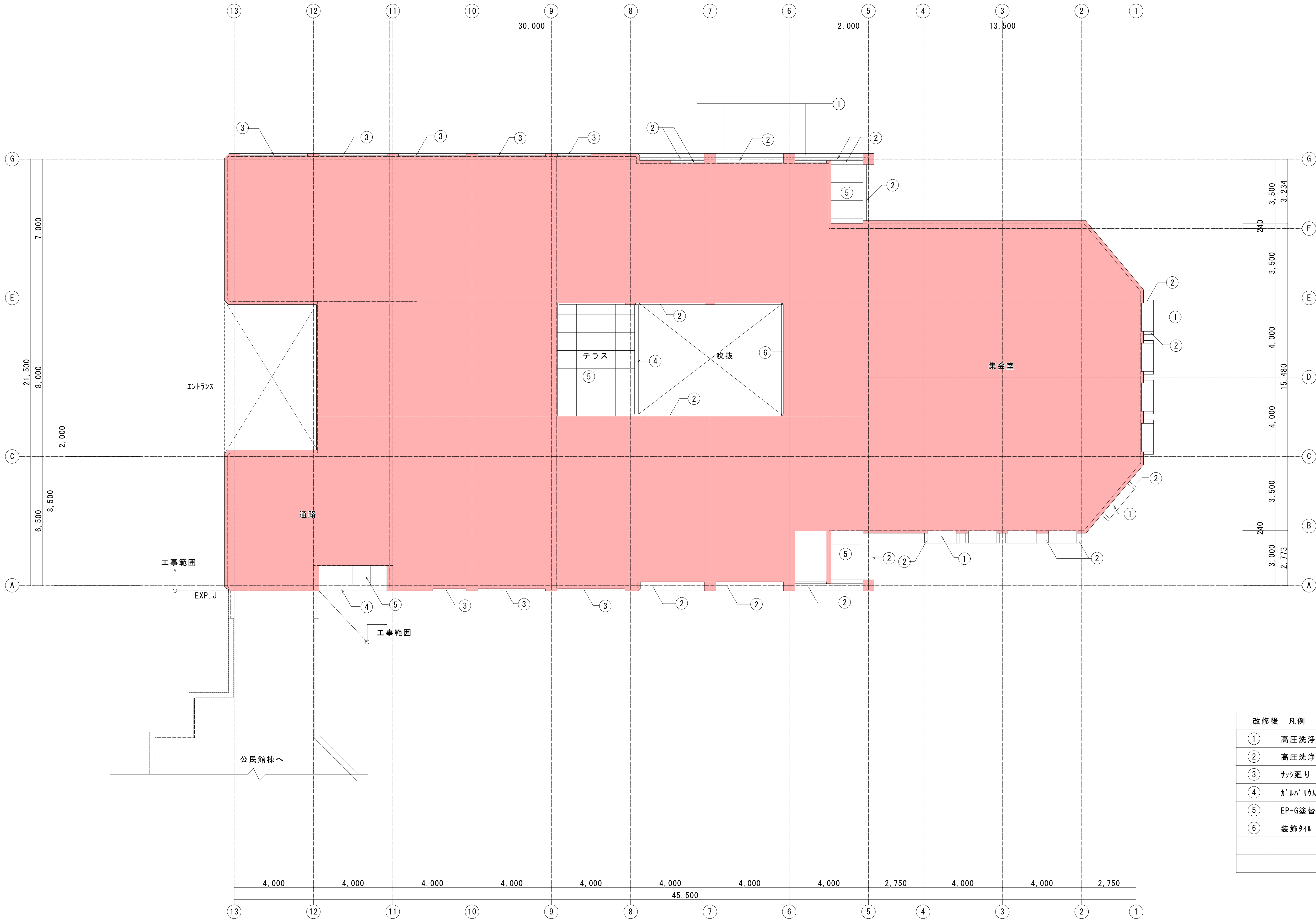


久留米市都市建設部建築課

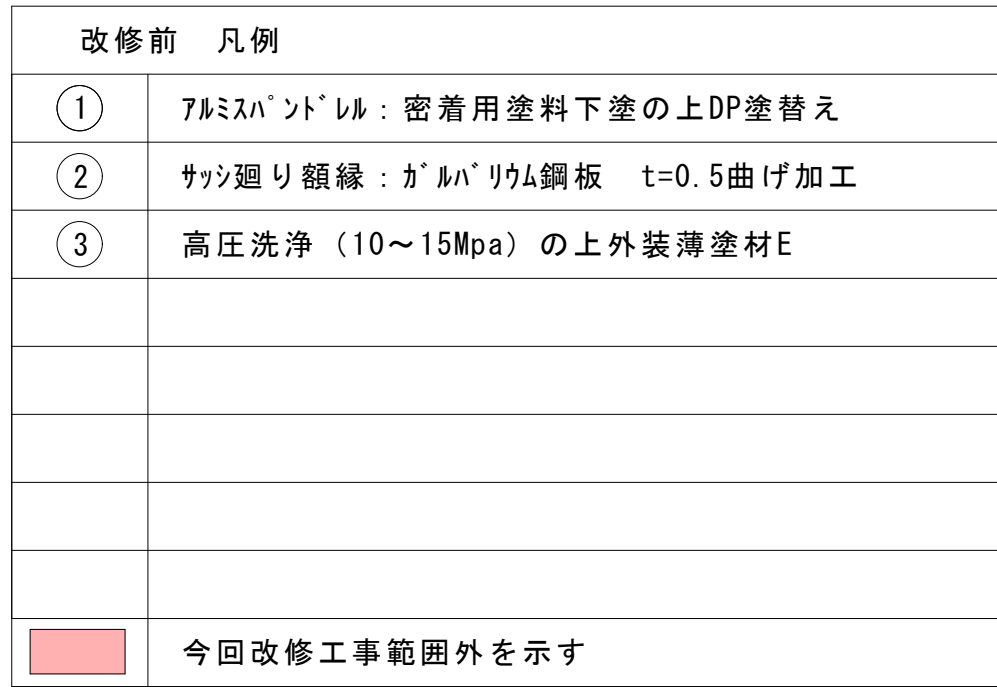
改修後	凡例
①	ウレタン塗膜防水 新設
②	笠木・見切り縁：ガルバリューム鋼板 t=0.5曲げ加工 (笠木部：軽鉄胴縁下地)
③	高圧洗浄後、フリーチンガル取付用プレートホーリング止め 軽鉄胴縁下地ガルバリューム鋼板サイディング張り t=18
④	既存サッシ廻り額縁：ガルバリューム鋼板 t=0.5曲げ加工
⑤	7ルミ水切 新設
⑥	装飾タイル 高圧洗浄 (10～15Mpa)
⑦	高圧洗浄 (10～15Mpa) の上防水形複層塗材E
⑧	外装薄塗材E
⑨	合成高分子ルーフィングシート防水 (S-M2) 新設
⑩	合成高分子ルーフィングシート防水 (S-F2) 新設
⑪	ビニネット下地処理の上複層塗材Eトフコート塗
△	建具廻り：既存ソーキング 打替え

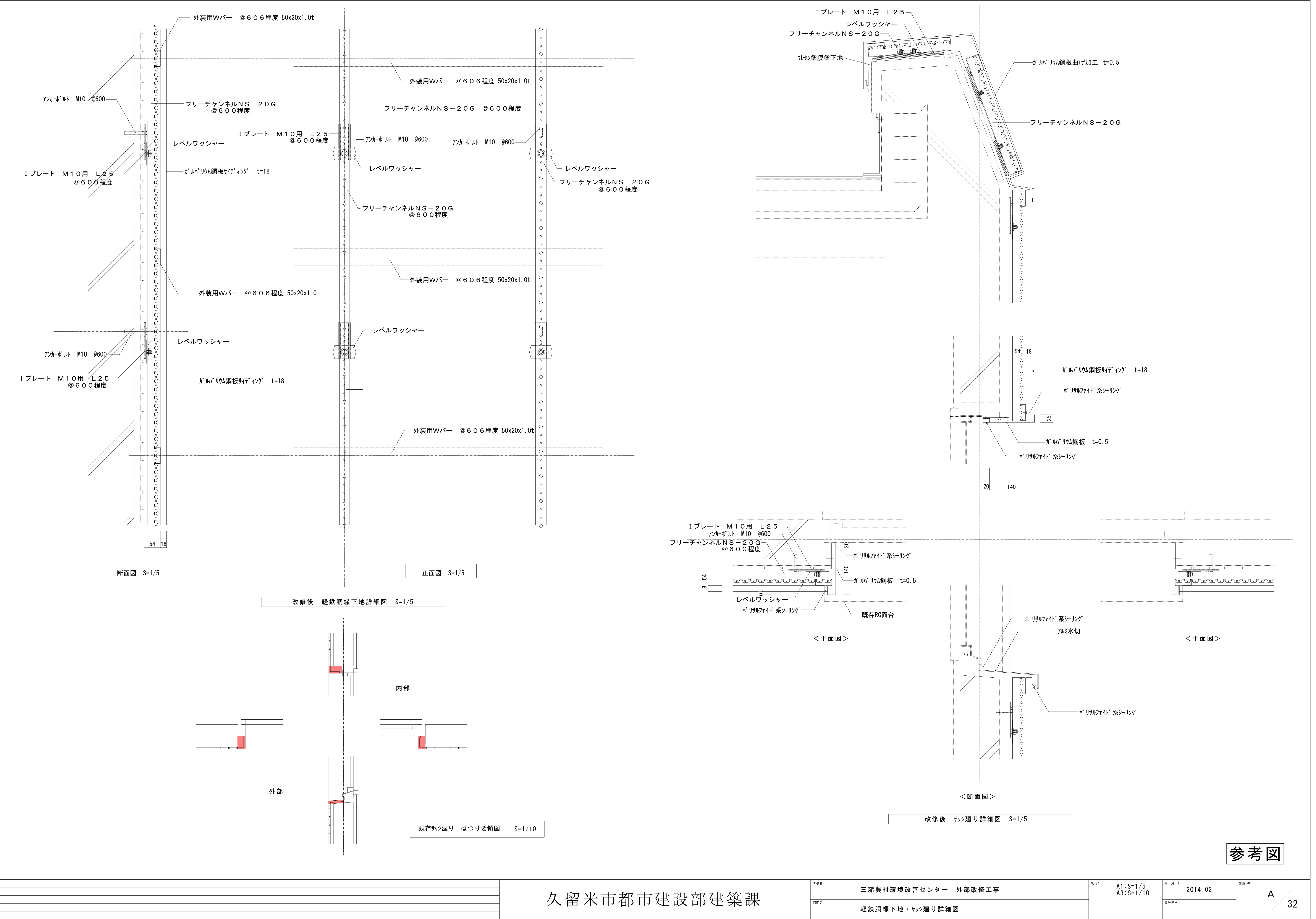


改修前 C ~ C 矩計図 S=1/30



改修後 凡例	
①	高圧洗浄（30～50Mpa）の上外装薄塗材 E
②	高圧洗浄（30～50Mpa）の上防水形複層塗材 E
③	サッシ廻り ガルバリウム鋼板額縁 新設
④	ガルバリウム鋼板見切り縁 新設
⑤	EP-G塗替え
⑥	装飾タイル 高圧洗浄（10～15Mpa）





参考図

	7 ~ 7 防水詳細図 改修前	イ ~ イ 防水詳細図 改修後	ウ ~ ウ 防水詳細図 改修前	エ ~ エ 防水詳細図 改修後
	オ ~ オ 防水詳細図 改修前	カ ~ カ 防水詳細図 改修後	キ ~ キ 防水詳細図 改修前	ク ~ ク 防水詳細図 改修後
	オ ~ オ 防水詳細図 改修前	カ ~ カ 防水詳細図 改修後	キ ~ キ 防水詳細図 改修前	ク ~ ク 防水詳細図 改修後

久留米市都市建設部建築課

工事名

三瀬農村環境改善センター 外部改修工事

図面名

防水詳細図 (1)

縮尺

A1:S=1/20
A3:S=1/40

年 月 日

2014. 02

設計担当

図面 No.

A / 34

ケ ～ ケ 防水詳細図		コ ～ コ 防水詳細図		サ ～ サ 防水詳細図		シ ～ シ 防水詳細図	
改修前							
ス ～ ス 防水詳細図							
改修前							

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事場所 久留米市 三瀬町 玉満

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延面积 (㎡)	消防法施行令 附表第一の区分	備 考
農村環境改善センター	ＲＣ造	２Ｆ	１、１７.９	Ⅰ項（ロ）	

- （１）工事種目は○印のついたものを適用する。

工事種目	建物別 及び屋外	工 事 種 別				
		屋内				屋外
① 電 灯 設 備		一式	一式	一式	一式	改修一式
② 動 力 設 備		一式	一式	一式	一式	改修一式
・ 雷 保 護 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 受 変 電 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 発 電 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 電 力 貯 蔵 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 構 内 情 報 通 信 網 設 備		一式	一式	一式	一式	
③ 構 内 交 換 設 備		一式	一式	一式	一式	改修一式
・ 情 報 表 示 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 映 像 ・ 音 音 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 拡 声 設 備		一式	一式	一式	一式	
④ 誘 導 支 援 設 備		一式	一式	一式	一式	改修一式
・ 太 陽 光 発 電 設 備		一式	一式			
⑤ テレビ共同受信設備		一式	一式	一式	一式	改修一式
・ 監 視 カ メ ラ 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 駐 車 場 管 制 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 防 犯 ・ 入 退 室 管 理 設 備		一式	一式	一式	一式	
⑥ 自動火災報知設備		一式	一式	一式	一式	改修一式
・ 自 動 閉 鎖 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 非 常 警 報 設 備		一式	一式	一式	一式	
・ 構 内 配 電 線 路						一式
・ 構 内 通 信 線 路						一式
・ テレビ電波障害防除設備						一式

請負者は、工事請負金額5百万円以上の工事受注時において、工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員に提出・承諾を受けた後に（財）日本建設情報総合センターに登録すると共に（財）日本建設情報総合センターが発行する「工事実績データ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。

4. 設備方式概要
工事種目は○印のついたものを適用する。

電 燈	① 照 明 器 具	・ 一般用照明器具 ・ 非常用照明器具 (・ 電源内蔵形 ・ 電源別置形)
動 機	2 E P S	・ 有 ・ 無
給 電	① 設 備 概 要	・ 空気調和 ・ 暖房 ・ 冷房 ・ 換気 ・ 浄化槽 ・ 給排水 ・ 消火 ・ 排煙 ・ 昇降機
電 力 保 護	1 受 電 部	・ 突 針 ・ 棟上げ躯体 ・ 金属製芯木 (別途) など
受 変 電	1 設 備 方 式	・ キュービクル式配電盤 (・ P F ・ S 形 ・ C B - 1 形 ・ C B - 2 形 ・ C B - 3 形)
電 力 貯 蔵	2 形 式	・ 屋内形 ・ 屋外形
充 放 電	1 形 式	・ 直流電源装置
機 内 通 信	2 原 動 機	・ 交流無停電電源装置
機 内 通 信	1 設 備 概 要	・ 1 0 0 B A S E - T ・ 1 0 0 0 B A S E - S X ・ 1 0 0 B A S E - T X ・ 光ケーブル ・ U T P ケーブル ・ 無線 LAN ・ リモータ ・ ルータ ・ スイッチ ・ ファイアーウォール ・ ネットワーク管理装置
機 内 交 換	① 形 式	・ ボタン電話装置 ・ デジタル交換機 ・ I P 交換機 ・ V o I P サーバー
機 内 交 換	2 電 話 機	・ 多機能電話機 (台) ・ 一般型電話機 (台) ・ 局線中継台
機 内 交 換	3 配 管 配 線	・ 配管のみ工事 (記)
機 内 交 換	1 設 備 概 要	・ 出退表示装置 ・ マルチサイン装置 ・ 時刻表示装置 ・ 報時計 ・ 時報子時計 ・ ボール時計 (・ 太陽光 ・ 電波式) ・ プログラムタイマ ・ 電子チャイム
機 内 交 換	1 設 備 概 要	・ 映像装置 ・ プロジェクタ ・ スクリーン ・ 音響装置
機 内 交 換	1 設 備 概 要	・ 一般放送用 ・ 非常放送用
機 内 交 換	① 設 備 概 要	・ 音声誘導装置 (・ インターホン ・ トイレ呼出し装置 ・ 受付呼出し装置
機 内 交 換	① 設 備 概 要	・ U H F ・ B S ・ C S ・ C A T V
機 内 交 換	1 設 備 概 要	・ 監視カメラ ・ モニター装置 ・ 録画装置
機 内 交 換	1 設 備 概 要	・ 管制盤 ・ 検知器 (・ 光電式 ・ ループコイル式) ・ 信号灯 ・ 警報装置 ・ 発券機 ・ カードゲート ・ カードリーダー
機 内 交 換	1 設 備 概 要	・ 検知設備 ・ 制御装置 ・ 検知器 ・ 入退室管理設備 ・ 制御装置 ・ 認識部
機 内 交 換	① 設 備 概 要	・ 火災報知設備 ・ 自動閉鎖装置 ・ 非常警報設備 ・ ガス漏れ警報装置
機 内 交 換	1 布 設 方 法	・ 地中管方式 ・ 架空線式
機 内 交 換	1 布 設 方 法	・ 地中管方式 ・ 架空線式

II. 工事仕様

図面及び特記付

標準仕様書及び公共建築工事標準図による（いずれも平成22年版電気設備工事編）
住宅工事は公共住宅建設工事標準共通仕様書による（平成19年版）
又、施工に関しては電気設備工事監理指針（平成22年版）による。
アスベスト成形板の処理は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成22年度版」及び
「久留米市アスベスト（石綿）除去改修工事共通仕様書（平成17年11月）」に基づき
適切に処理を行うと共に ノンアスベスト製品を使用すること。

2. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。

	項
--	---

①機材

②主任技術者等の資格

③電気工作物

④電気保安技術者

⑤電気工事事

⑥工事用電力・水・ガス、その他

7工事用仮設物

8監督員事務所

⑨足場・鉄骨類

⑩発火物の処理

11残土処理

⑫工事写真

⑬完成図面その他

14耐震施工

本工事に使用する機材などは、図面内機材表によるほか同等品以上とする。
同等品以上とする場合は、主任監督員の承認を受ける事。
なお、材料及び製品については、グリーン購入法対象製品の使用を要する事。

本工事の主任技術者は下記の資格を有する者とする。なお、監理技術者は指定建設監理技術者資格証を有する者とする。

○ 監理指図でいう主任技術者
○ 監理指図でいう監理技術者
○ 一般用電気工作物 ○ 自家用電気工作物

工事現場における電気主任技術者は、標準仕様書（P8）による工事担当技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

契約電力 500 Kw 以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。

本工事に必要な官公署への諸手続などの費用はすべて該負者の負担とする。

工事用電力、水、ガス、○ 支給 ○ 該負者負担

構内につくことが、できる ○ できない

○ 設けない ○ 設ける（ 号）

別契約の関係該負者が定めたものは、無償で使用できる。
発火物の処理は下記による。
(イ) 引渡しを要するもの（○ 無 ○ 有）
(ロ) 産業廃棄物（○ 無 ○ 有 別表区分条件参照の事）
(ハ) 建設リサイクル対象工事 ○ 対象 ○ 対象外
PCB使用機器の取扱いについては監督員の指示を受ける。

○ 構内指示の場所にならなく、構内指示の場所にたい積、構外搬出（約 Km）

国土交通大臣官庁官庁建設部監修の「工事写真の撮り方（建築設備編）」による工事写真は、カラーとする。
別表作成要領による。（ ）

耐震装置は、共通仕様書及び標準図に記載されている事項を除き、建築設備耐震設計施工指針（建設住宅用建築設備標準仕様）による。なお、設計用水平地震力は、次に示す設計用水平地震に機種の重量を乗じたものとする。また、設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の1/2とする。
設計用水平地震度

震度の区分	1階・地下階	中間階	塔屋・屋上・上階階
重要度の高い設備機器	0.6	1.0	1.5
その他の設備機器	0.4	0.6	1.0

重要度の高い設備機器
・受変電機器 ・盤類 ・自家発電機器 ・構内交換機器 ・防災機器
・中配線 建物への配線引き込み部の耐震処理（ F E P方式 ・ 地中箱方式）
既存のコンクリート床、壁などの貫通部の穴明けは、原則として、ダイヤモンドカッターによる。
分電盤、制御盤以降、及び各通達機器（幹線部分を除く）の配管、配線での経路、サイズ、本数は、設備機能優先とし、図面表示と多少相違してもよい。
位置ボックス及びジョイントボックスは金属製とする。
プライマリー処理後開口ベント2回塗り（ 屋 内 ○ 屋 外）
屋内使用塗料はF☆☆☆☆とする。有機溶剤製品使用時はMSDSを事前に提出し、監督員の承認を受ける。
屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、ステンレス製又は溶融亜鉛めっき仕上とする。
建築工事に伴い、ポリスチレンフォーム板打込みの箇所に取り付ける位置ボックス等は、断熱、結露防止処理を行う。
○ 金属製（防水形配線器具を除く） ・ 樹脂製（ ）
・ 水圧低減防滴付（空転防止リフ付） とする。
・ 金剛製 ・ アルミ製
スリット、コンセント、プランクプレート及びプルボックスなどで用途の判別し難いものは、表示する。ハンドホール、マンホールのみには用途別に「電力」、「通信」等と、表示する。
長さ3mm以上の入射しない電線管は 1.2mm以上のビニル被覆線管を挿入する。
寸法は図面表示と多少相違してもよい。
接地極の材料は下表による。接地埋設極は刷印文字による表記とする。
（E(B)=D=14、W=40、L=1,500 E(P)は標準電圧U0(B)による。）

⑬はつり

⑬配管・配線その他

⑬露出配管の塗装

⑬接合材の使用

⑬支持金物その他

19断熱結露防止

20フラッシュプレート

21フロアプレート

22ベース

23表 示

23呼び 線

24寸 法

25接地 極

既存のコンクリート床、壁などの貫通部の穴明けは、原則として、ダイヤモンドカッターによる。

分電盤、制御盤以降、及び各通達機器（幹線部分を除く）の配管、配線での経路、サイズ、本数は、設備機能優先とし、図面表示と多少相違してもよい。

位置ボックス及びジョイントボックスは金属製とする。

プライマリー処理後開口ベント2回塗り（ 屋 内 ○ 屋 外）

屋内使用塗料はF☆☆☆☆とする。有機溶剤製品使用時はMSDSを事前に提出し、監督員の承認を受ける。

屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、ステンレス製又は溶融亜鉛めっき仕上とする。

建築工事に伴い、ポリスチレンフォーム板打込みの箇所に取り付ける位置ボックス等は、断熱、結露防止処理を行う。

○ 金属製（防水形配線器具を除く） ・ 樹脂製（ ）
・ 水圧低減防滴付（空転防止リフ付） とする。
・ 金剛製 ・ アルミ製

スリット、コンセント、プランクプレート及びプルボックスなどで用途の判別し難いものは、表示する。ハンドホール、マンホールのみには用途別に「電力」、「通信」等と、表示する。

長さ3mm以上の入射しない電線管は 1.2mm以上のビニル被覆線管を挿入する。

寸法は図面表示と多少相違してもよい。

接地極の材料は下表による。接地埋設極は刷印文字による表記とする。
（E(B)=D=14、W=40、L=1,500 E(P)は標準電圧U0(B)による。）

②6再使用機器

②7絶縁抵抗

②8電線の保護

②9EM電線

30ELC回路の接地

③1他工事の特仕仕様

32合成樹脂管（P管）

33施工業者名板

③4工事保険等

取りはずし再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定後、機能及び状態を確認の上取付ける。

改修にかかわる電路については、施工前に絶縁抵抗を測定し監督員に報告する。

特記のない引き下げ部分及び露出部分の配線はMMIにて保護する。
貫通部分の配線は、金属管などで保護する。

EM電線の使用（○ 無 ○ 有）

同一箇所内漏電遮断機で保護されている電路と保護されていない電路に設けられる機器などの接地線及び接地極は、共用しない。

機械設備工事及び建築工事の特仕仕様は別図による。

1重管を使用すること。エコ製品の使用（○ 無 ・ 有）
・配電盤、制御盤類には施工業者名板を取付ける事。
（表示内容：施工業者名、製造業者名、施工年月日）
・屋外照明灯ポールには製造米市仕様施工業者名板を取付ける事。

・加入しない ○ 加入する（工期末日±2週間）

1蛍光灯器具

接 地 の 種 類		記号	接 地 の 極	
電 力	共 同	E A-B-D	EP 1枚以上	
			EB 2本 "	
			EB	6本 "
				2本 "
				1本 "
	第A種	EA	EB	6本 "
				2本 "
				1本 "
				6本 "
通 信	構 内 交 換 機 用	E t	EP	1枚 "
				EB 2本 "
			EB	6本 "
				1本 "
				1本 "
	直 流 電 源 装 置（降線）	E a t	EB	6本 "
				1本 "
				1本 "
雷	通信用（100Ω以下）	T E L保安器用E D t	EB	6本 "
				1本 "
				1本 "
	拡声増幅器（100Ω以下）	E D	EP	1枚 "
				EB 2本 "
				6本 "
				1本 "
				1本 "
雷	保安保護設備	E L B	EB 2本 "	
	高 圧 注 意 用	E L H	EB 6本 "	
	低 圧 注 意 用	E L L	EB 1本 "	
	測 定 用	E O	EB 1本 "	

②LED照明器具

接 地 の 種 類		記号	接 地 の 極
直 管 の ラ ン プ	環形のランプ（ホームライトを除く）	20・30形（防雨形器具、防湿形器具、電池内蔵形非常用照明器具、及び誘導灯）	G H
			G L
			PH
			PH PK
			PH PJ

②LED照明器具

LEDの寿命は初期全高流の70%以下に低下するまでの時間とし、40,000時間以上とする。

光輝色は、相対色温度4,000～5,000K（白色相当）とする。

平均色温度評価値(Ra)は65以上とする。

電
灯

電 灯 設 備	2	蛍光灯管線	・ 一般形 ・ 3変長環状光型形	
	3	メタルハライドランプ	ランプには通常低始動電圧型で蛍光物質塗を塗着、飛散防止目的時はつ葉樹脂を塗布したものを用いる。	
	4	ハイテンション	・ 上下動形 ・ 内部固定形 ・ 外部固定形	
	5	照明器具の接地	コードペンダント以外の放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は、接地する。 なお、金属管配線の場合は、配管を利用してもよい。	
電 灯 設 備	6	予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の、配線用遮断器4個以下の場合 (PF22) を1本、5個以上の場合、(PF22) を2本、天井まで立上げる。なお、スラブ天井の場合は、天井又は梁下 200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取付ける。 二重天井の場合は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取付ける。	
	7	送り配線端子	蛍光灯器具及び 100W 以下の埋込白熱灯器具 (非常用照明器具を含む) には、定格電流 15A 以上の送り配線が可能な端子を取付けるものとする。〔 (市販品) と表示されたもの 〕 照明器具及びスイッチ、コンセントのボックスには総て接地工事を施すこと。	
電 力 設 備	⑧	ボックスの接地		
	①	機器の接地	電動機容量 7.5kw以下の第D種接地工事は、配管を利用してもよい。	
	2	インターロック	火災信号により空調機、送排風機及びボイラなどを停止させる。	
電 力 設 備	1	仕様詳細	別図、雷保護設備仕様による。	
	1	仕様詳細	別図、雷保護設備仕様による。	
	1	仕様詳細	別図、雷保護設備仕様による。 別図太陽光発電設備仕様による。	
	①	仕様詳細	別図、構内情報通信網設備仕様による。	
構 内 交 換	1	仕様詳細	別図、構内交換設備仕様による。	
	2	電話機1台につき次のものを見込む。 ・ TIE F 0.65〜2C (2.0m・ m) ・ EBT 0.4〜2P (2.0m・ m) ・ 2号ワイヤボード 1.5m		
	3	ローテーション	・ 一般用 個 ・ 本工事 ・ 別途工事	
	4	保安用接地		
情 報 表 示 装 置	1	マルチサイン装置	別図、マルチサイン機器仕様による。	
	2	出表示装置	別図、出表示装置仕様による。	
	3	時刻表示装置	・ 時計計 ・ 秒 回線 ・ アナログ ・ デジタル	
	4	プログラムタイマ	別図、プログラムタイマ仕様による。	
	5	電子式チャイム	別図、電子式チャイム仕様による。	
映 音 機 備	1	増幅器	別図、音響機器仕様による。	
	2	スピーカー	・ 入力 ・ ローインピーダンス型	
	3	プロジェクター	・ 液晶型 ・ インチ型 ・ 天井吊型 ・ 卓上型	
	4	その他の機器	別図、機器仕様による。	
拡 声 設 備	1	増幅器	・ 一般放送又は緊急放送が可能 ・ 非常放送は自動音による ・ カットリレー ・ 卓上用 ・ キャビネットラック用 ・ デスク用 ・ 壁掛用 ・ 出力 30W ・ リモコンマイク	
	2	スピーカーなど	別図、スピーカー仕様による	
	3	機器と配線の接続	増幅器などの入出力路と配線との接続は、コネクタなどを取付けて行う。	
	4	その他		
録 音 支 援 機 備	1	音声誘導装置	別図、音声誘導装置仕様による。	
	②	インターホン	・ 親機 局型 ・ 呼出し表示灯及び復旧ボタン付 ・ 通話方式 (親子型・相互式) ・ モニタ付 ・ 尋呼器用 ・ 点字説明板	
	3	トイレ呼出し装置	・ 親機 局型 ・ 呼出し表示灯及び復旧ボタン付 ・ 表示灯	
	4	その他	国際シンボルマークは、合成樹脂製とし、寸法 t5×150×150 で白地に青とする。	
テ レ ビ 機 共 同	①	テレビアンテナ	UHF (②20素子・UH-20 UL20 (BL)) ・ CATV (引込工事調整後) ・既存分岐 ・ ベースプレート (亜鉛メッキ) ・ボイル (亜鉛メッキ・ SUS) ・ 機器はデジタル放送対応品とする	
	2	テレビ電波障害調査工事	別図、調査工事仕様による	
監 視 カ メ ラ	1	カメラ	・ CCD方式・CMOS方式 ・ 白黒 ・ カラー ・ ネットワーク利用 ・ インチ型 ・ 白黒 ・ カラー ・ 72時間停電補償	
	2	ビデオモニター	・ タイムラプス型 ・ デジタルレコーダー	
	3	録画装置	・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ デスク型	
	4	装置形式		
駐 車 場 設 備	1	仕様詳細	別図、駐車場管理設備仕様による。	
防 犯 入 退 室	1	仕様詳細	別図、防犯・入室盗警設備仕様による。	
	2	工事範囲	・ 予備配管のみ本工事 ・ 機器及び配管配線まで本工事	
自 動 火 災 報 知 設 備	①	火災報知装置	受信機 ・ 単独 ・ 連動制御器など于一体 ・ P型 ・ 1級 ・ 回線 ・ マップ型 ・ R型	
	2	自動閉鎖装置	連動制御器 ・ 単独 ・ 火報受信機など于一体 自動閉鎖装置 ・ 防火戸用 DC24V・ 0.4A以下 (ラッチ式) ・ 防煙ダンパ用 DC24V 0.5A以下 遠方復帰機構 (電動式) ・ 防火シャッター用 DC24V 0.4A以下、	
	3	非常警報装置	形 式 ・ 埋込形 ・ 露出形 ・ 複合装置	
	4	ガス漏れ警報装置	受 信 機 ・ 単独 ・ 火報受信機など于一体 検 知 器 ・ 液化石油ガス用 ・ 都市ガス () 用 ・ ガスマイコンメーターとガス漏れ感知器を連動すること	
		共事事項	火災信号により空調機、送排風機及びボイラなどを停止させるために、移相用有電圧接点を設ける。	
中 央 監 視	1	仕様詳細	別図、中央監視制御設備仕様による。	
構 内 配 電 線 路	1	機 材	・ 一般用 ・ 耐塩用	
	2	外灯ポール	外灯ポールは、亜鉛付着量 350g/m3 (JIS H8641 「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZ35) 以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。 エッチングプライマー処理後、指定色仕上。	
	3	埋 設 標	・ ダクトイル ・ キャッツアイ	
	4	標識シート	高圧地中線路及び、低圧地中線路に設ける。(GL-150)	
	5	ハンドホール 内蔵名称	樹脂プレートに文字刻印とシェパールサイズ、用途、施工年、業者名を記入のこと 建物導入部にはキャッツアイによる表示をする	
構 内 通 信 線 路	1	埋 設 標	・ ダクトイル ・ キャッツアイ	
	2	標識シート	・ 地中幹線路低圧地中線路に設ける。(GL-150)	
	3	建物導入部	建物導入部にはキャッツアイによる表示をする 樹脂プレートに文字刻印とシェパールサイズ、用途、施工年、業者名を記入のこと	
	4	ハンドホール 内蔵名称		
通	①	配線図中の図記号は、下表による。 (1) 電線サイズなどが記号に傍記されている場合は、それによる。 (2) 床埋べ配線の場合も適用する。		
共 通	記 号	名 称	記 号	名 称
	—	コンクリート貫通部分	(室 名)	スラブ天井
	()	既設配管	—	配線保護部分
	—C—	(PF16)		

- ② 他工事との取合い事項は、下表による。

工事内容			工事区分		電気工事	建築工事	機械工事
機械の基礎	電 気 関 係	配電盤・制御盤の基礎	屋内				
			屋外				
			屋上				
			自家発電電機（アンカーボルトを除く）				
			テレビアンテナ基礎（　〃　）				
開口部	保	外灯の基礎（　〃　）					
		特記した基礎					
		梁、床、壁	補強を要するもの				
		貫通スリーブ	補強を要しないもの				
		梁、床、壁	補強を要するもの				
		貫通部型枠	補強を要しないもの				
		軽量鉄骨下地天井	補強を要するもの				
		壁ボード類の切込	補強を要しないもの（○、□は除く）				
		埋込形分電盤・端子等の型枠	補強を要するもの				
			補強を要しないもの				
配		上記の開口部の補強					
		スリーブの穴埋（型枠の穴埋めを含む）					
		既設コンクリート壁貫通・補修（ダイヤモンドカッター）					
		既設コンクリート床はつり補修					
点検口	床、天井、壁						
防油堤	オイルサービスタンの防油堤						
ガス漏れ検知器							
消火栓箱込み機器収納室内配線整理用端子台							
電気配線		機械設備機器の制御盤以降の配管配線（接地系）（空調機、ポンプ、全熱交換器、自動水栓等）					
		機械設備機器の制御盤への一次側電源配管配線（接地系）					
		燃焼知器から運動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線					
		小便器用節水装置の配管配線					
		自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給					
配管		自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ					
線		防火厚レリーズ					
		電線棒					
		配線ビット及びふた					
		別添機器などへの接続					

- ③ 機器の標準取付け高さは下表による。

	名 称	測 点	取付高 (mm)		名 称	測 点	取付高 (mm)
電力 共通	取引用計器	地上～窓中心	1800～2000	表 示	表示器	床正～中心	2300
	引込開閉器	床正～中心	1800～2200		壁付発信器	〃	1300
					ベル・ブザー・チャイム	〃	2300
	分電盤	床正～中心 (上端1900以下)	1500		壁付押ボタン	〃	1300
電 灯	スイッチ	〃	1300	イ ン タ ー ホ ン	電源箱	天井下～上端	200
	身体障害者用スイッチ	〃	1100		壁付位置ボックス (一般)	床正～中心	300
	壁付コンセント (一般)	〃	300		〃 (和室)	〃	150
	〃 (和室)	〃	150		身体障害者用観機	〃	1300
	〃 (台上)	台上～中心	150～300		身体障害者用子機	〃	1100
	〃 (土間)	床正～中心	800～1300		身体障害者用呼出ボタン	〃	900
	ブラケット (一般)	〃	2100～2300		身体障害者用受償ボタン	〃	1500
	〃 (語場)	〃	2000～2500		身体障害者用表示灯	〃	2300
	〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150		連絡用インターホン	〃	1300
					留守用インターホン	〃	1300
動 力	壁掛形制御盤	床正～中心 (上端1900以下)	1500	レ ビ エ ル 共 同 受 信	直列ユニット (一般)	床正～中心	300
	手元開閉器	〃	1500		〃 (和室)	〃	150
	操作スイッチ	〃	1300		機器収容箱	天井下～上端	200
電 話	警 報 盤	〃	2300	火 災 報 知 機	受信機・副受信機	床正～中心	800～1500
	端子盤 (室内)	床下～下端	300		機器収容箱	〃	800～1500
	集合保安装箱	天井下～上端	200		発信機	〃	800～1500
	壁付位置ボックス (一般)	床正～中心	300		ベ ル	〃	2300
	〃 (和室)	〃	150	表示灯	〃	2100	
電 気 時 計	壁掛形時計	床正～中心 (上端1900以下)	1500	機	液化石油ガス用検知器	床正～上端	300
	子 時 計	〃	2300				
	壁掛形スピーカー	〃	2300				
抵 声	壁付アッテネータ	〃	1300				
	時報親子時計	〃	2300				

処分案件

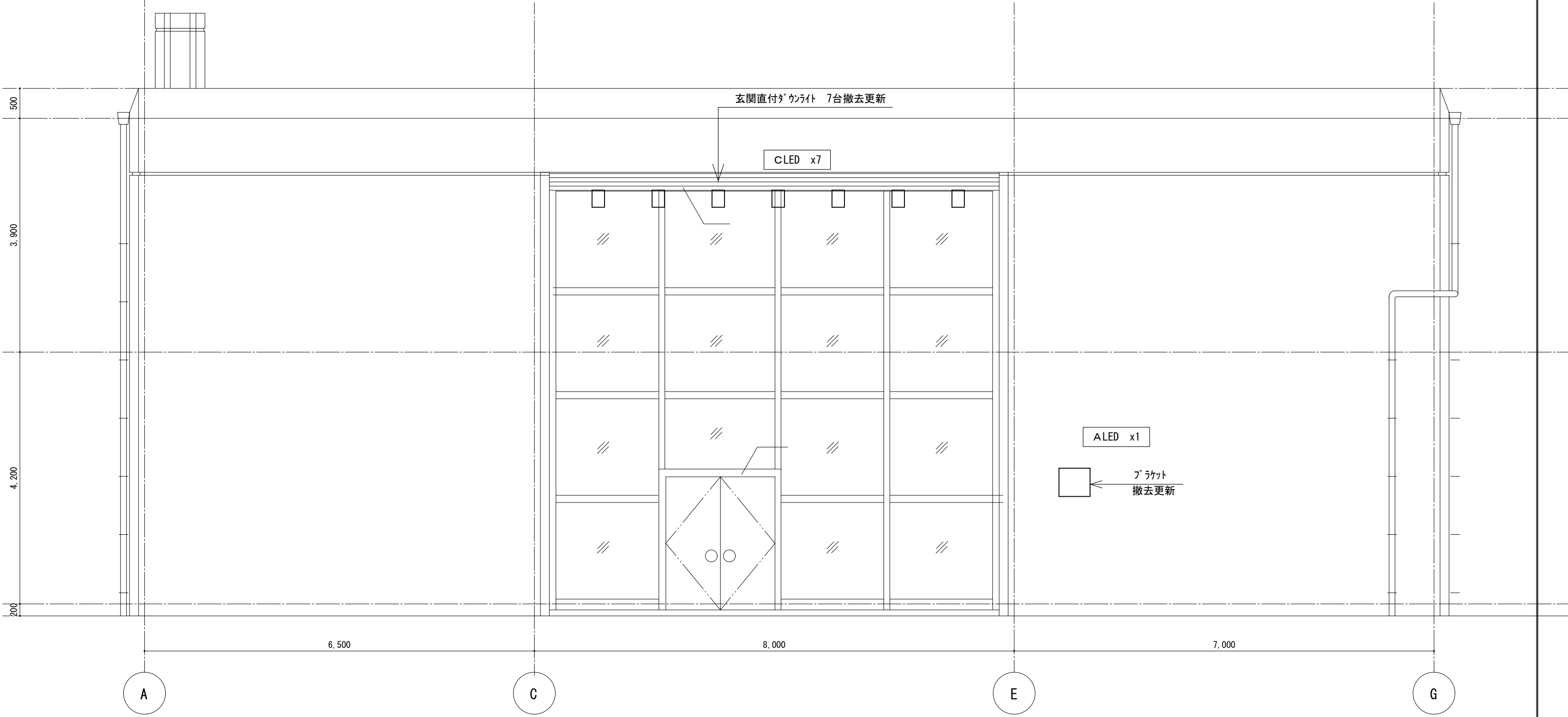
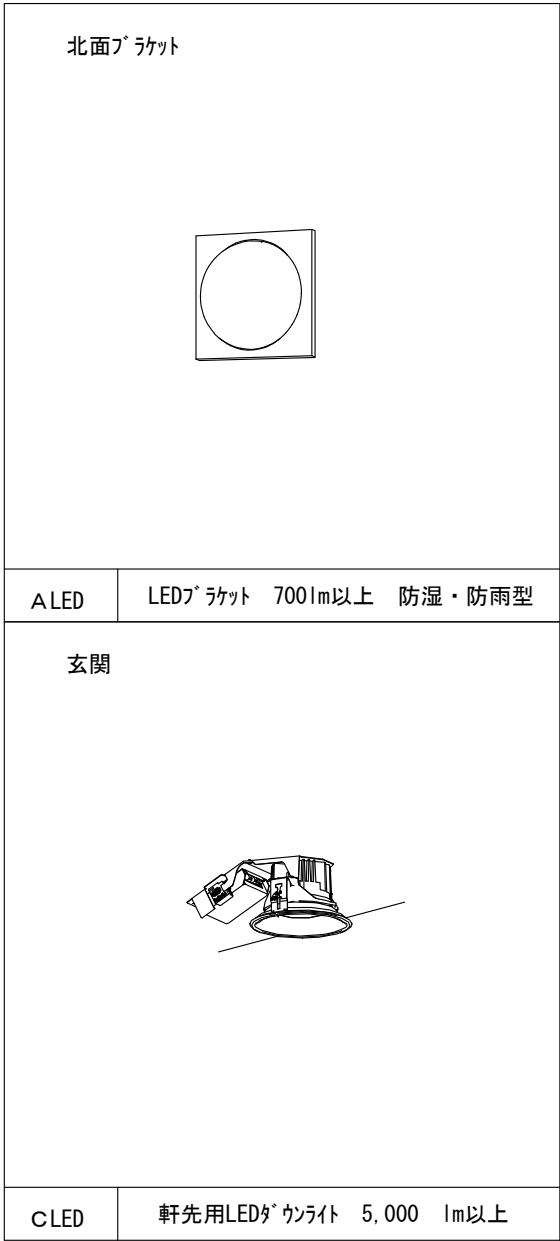
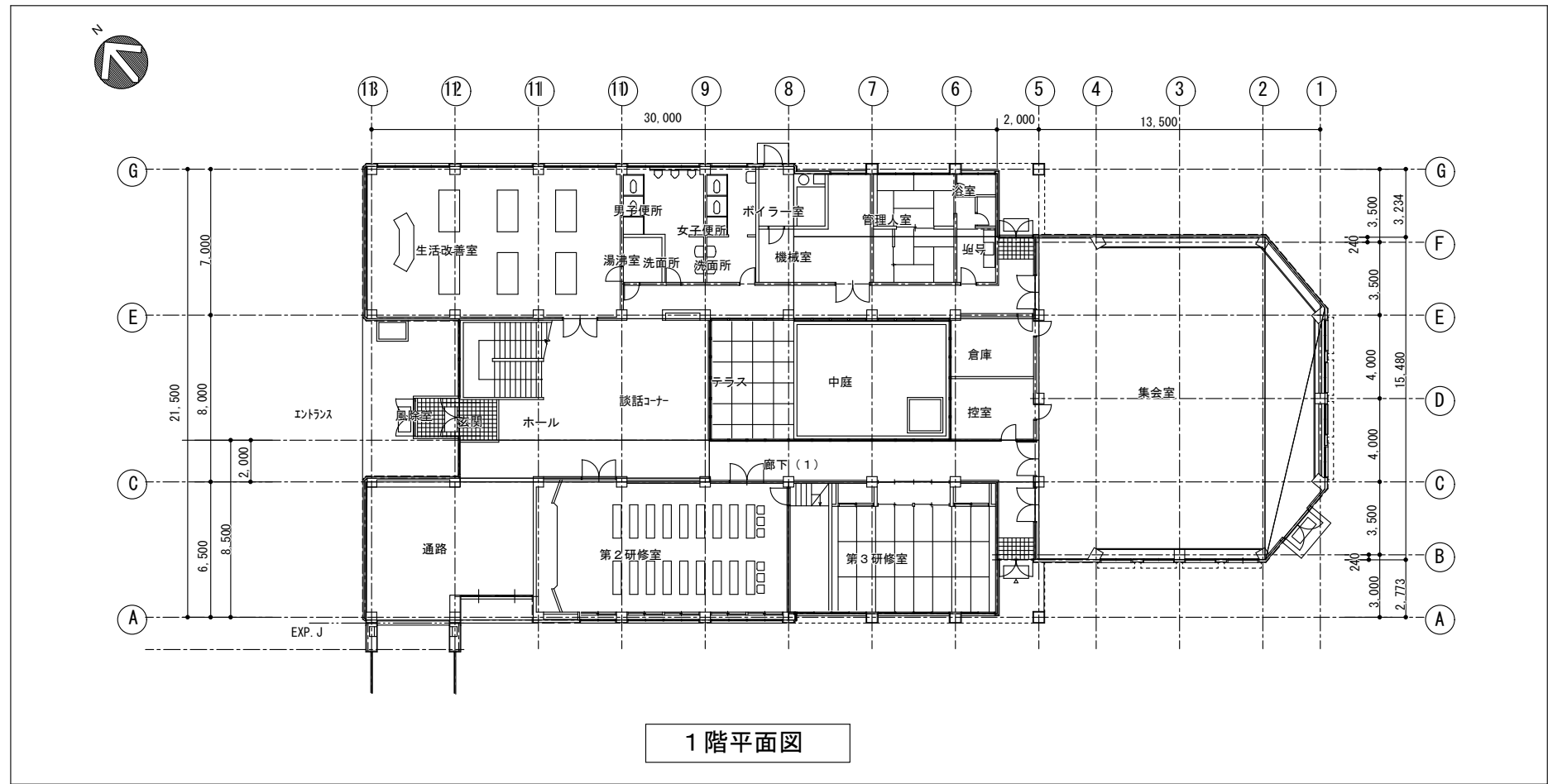
建設副産物の処理については、再資源化に努めるとともに、「再生資源の利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に依り、指定された方法により適正に処理を行うこと

また、工事に際しては、工事着手時に「産業廃棄物処理計画書」、工事竣工時に「産業廃棄物処理報告書」を提出すること

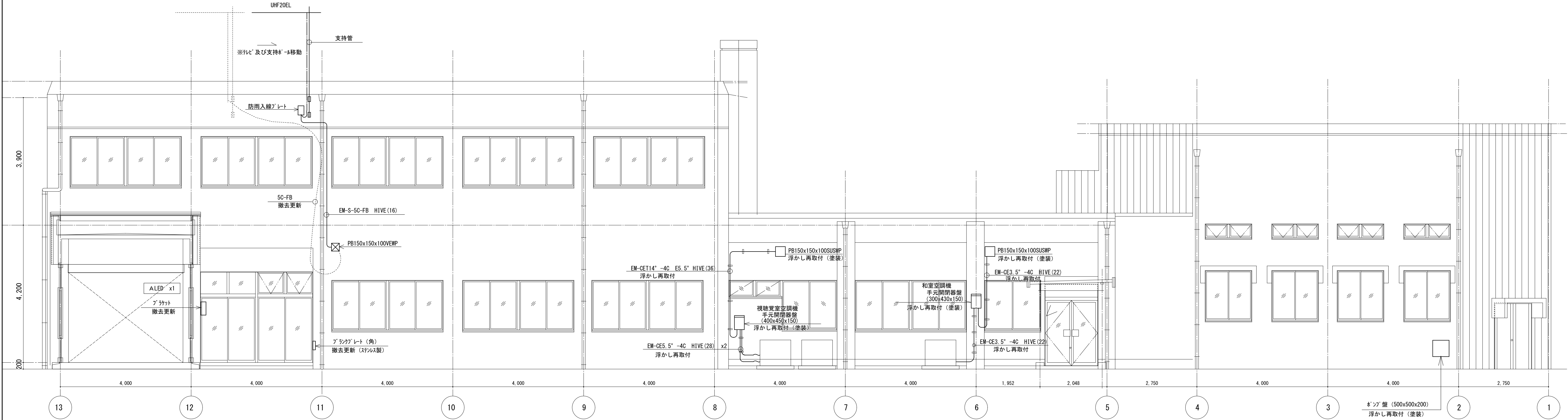
分 別 品 目	処 分 条 件 等
・ が れ き 類 (コンクリート塊、 アスファルト ・ コンクリート塊)	・ 現場内で再利用 () ・ 再資源化施設へ搬出 受入場所 () ・ (中間処理 ・ 最終処分) 場へ搬出 参考受入場所 ()
・ 廃 プ ラ ス チ ッ ク	・ 再資源化施設へ搬出 受入場所 () ・ (中間処理 ・ 最終処分) 場へ搬出 参考受入場所 ()
○ ガラス、陶磁器くず	・ 再資源化施設へ搬出 受入場所 () ・ 中間処理 ・ 最終処分) 場へ搬出 参考受入場所 ()
○ 金 属 く ず	・ 再資源化施設へ搬出 受入場所 () ・ 中間処理 ・ 最終処分) 場へ搬出 参考受入場所 ()
・ 廃 P C 板 等	「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正処理の推進に関する特別措置法」に従い、届け出をしを保管できるように施設管理者に引き渡す。

産業廃棄物処理業者へ委託する場合は、マニフェストシステムによる。

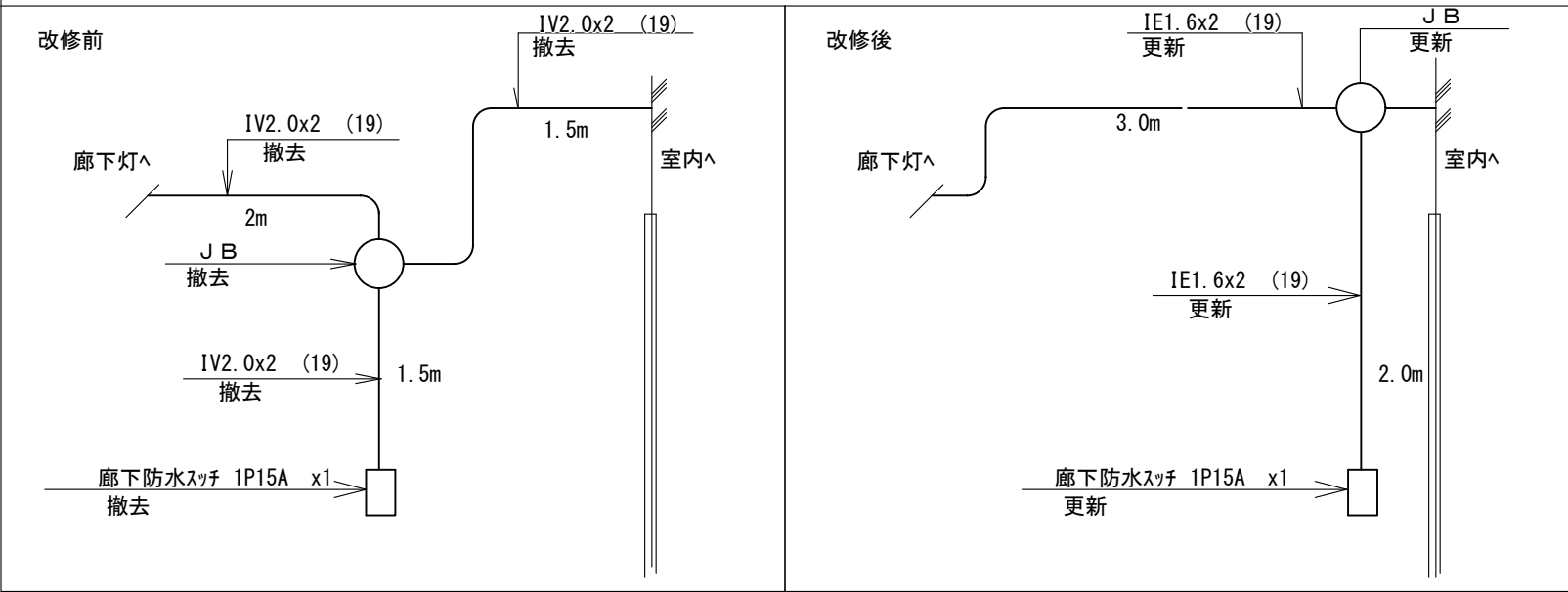
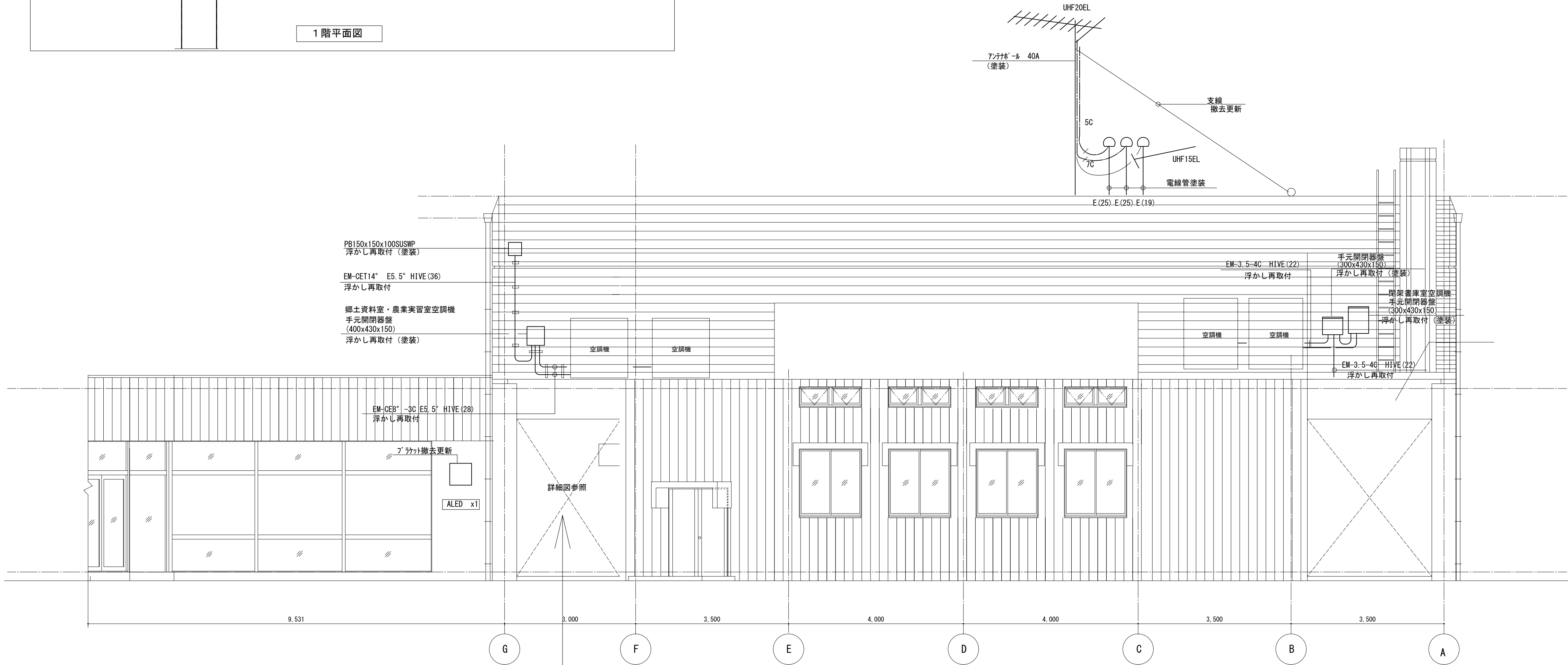
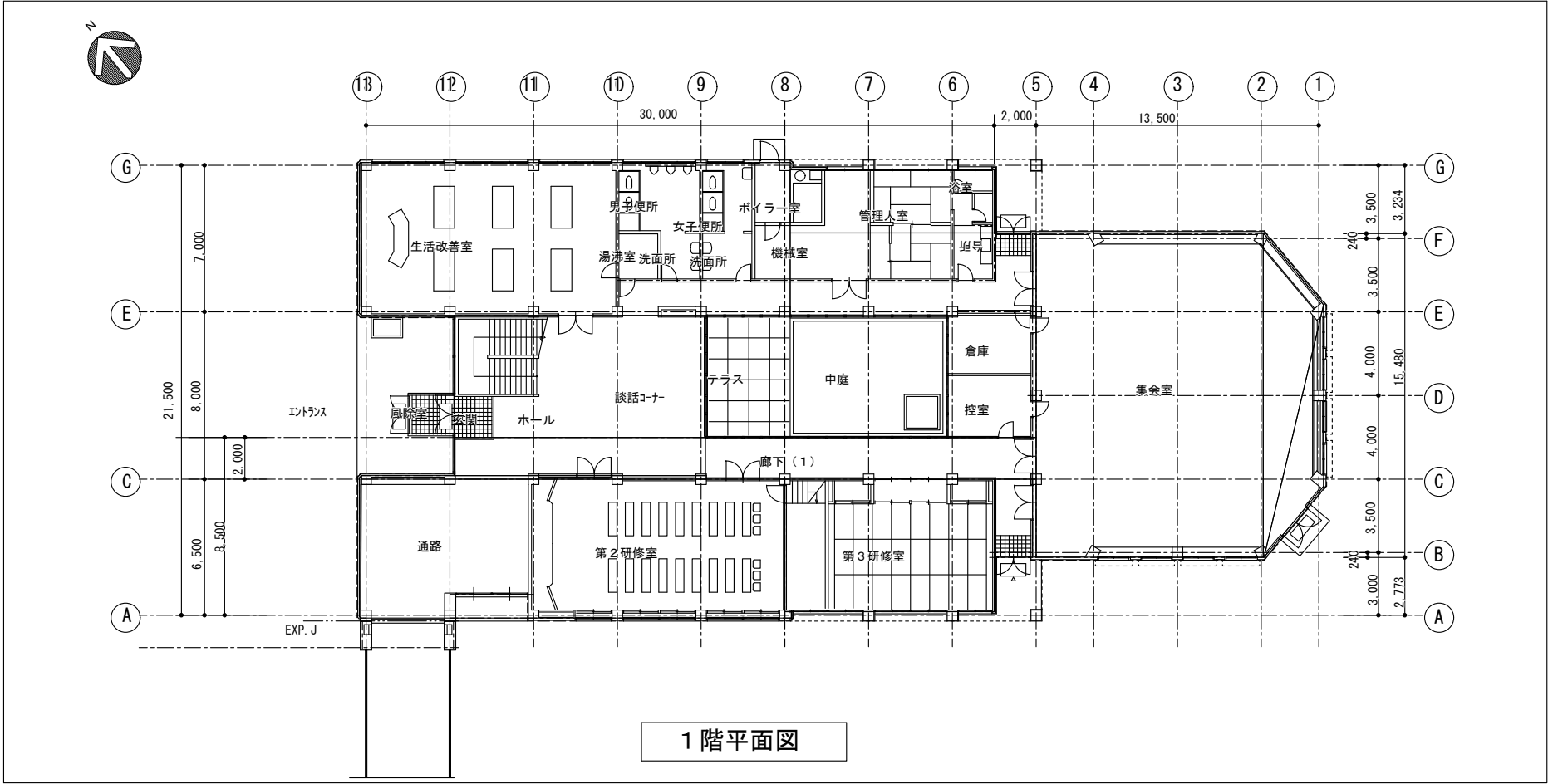
工事名称	三潨農村環境改善センター外部改修工事		
工事場所	久留米市 三潨 町 玉満		
図面名	電気設備工事特記仕様書	縮 尺	—
設 計	久留米市役所都市建設部建築課	設計日	2014.02
資 格	級建築士第 号	住 所	久留米市城南町15-
氏 名	印	図面番号	E 1 / 5

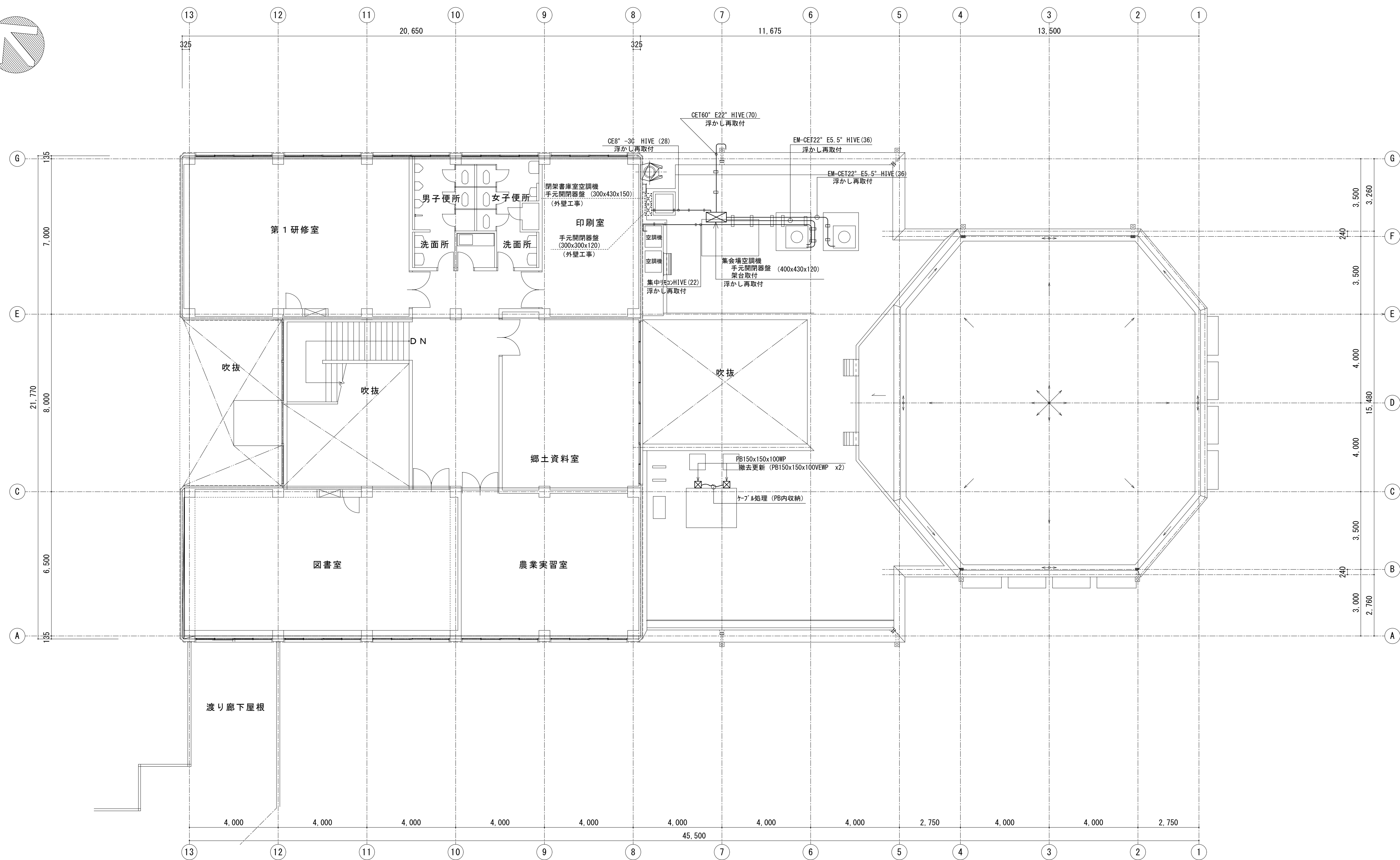
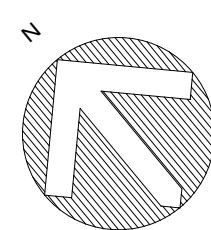


西立面図 S=1/60

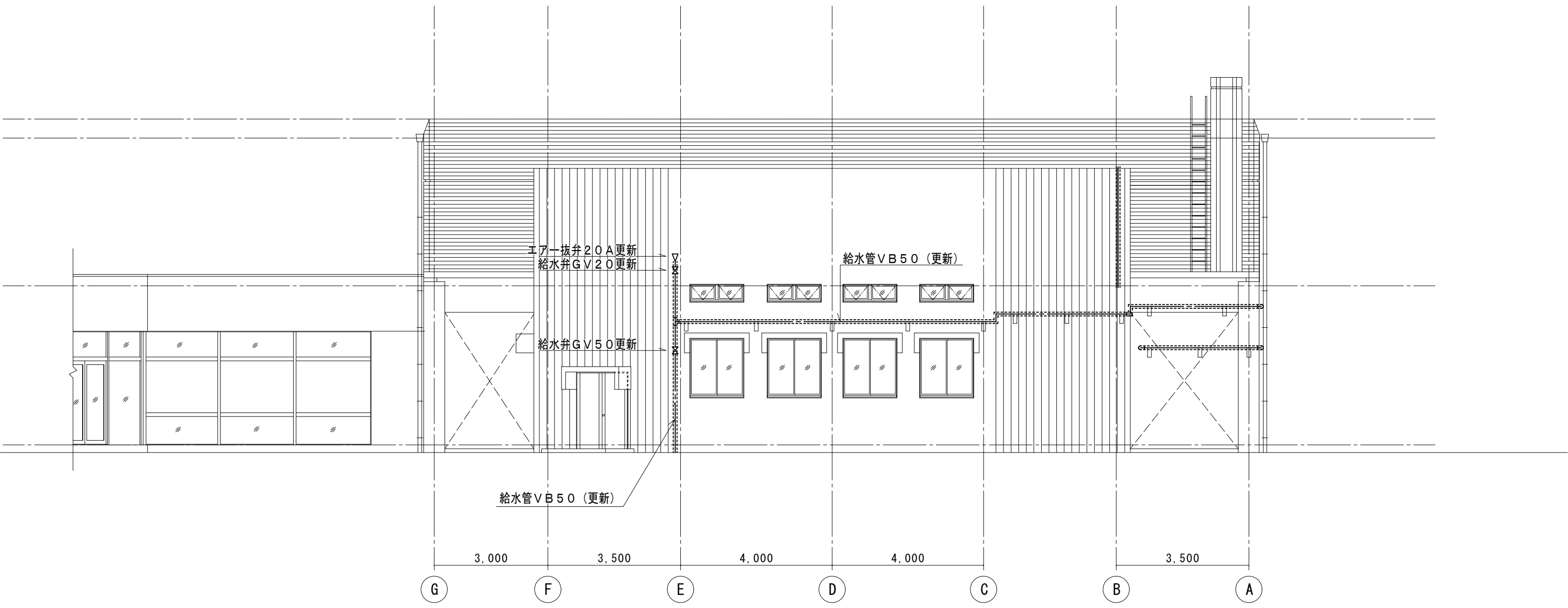


南立面図 S=1/60





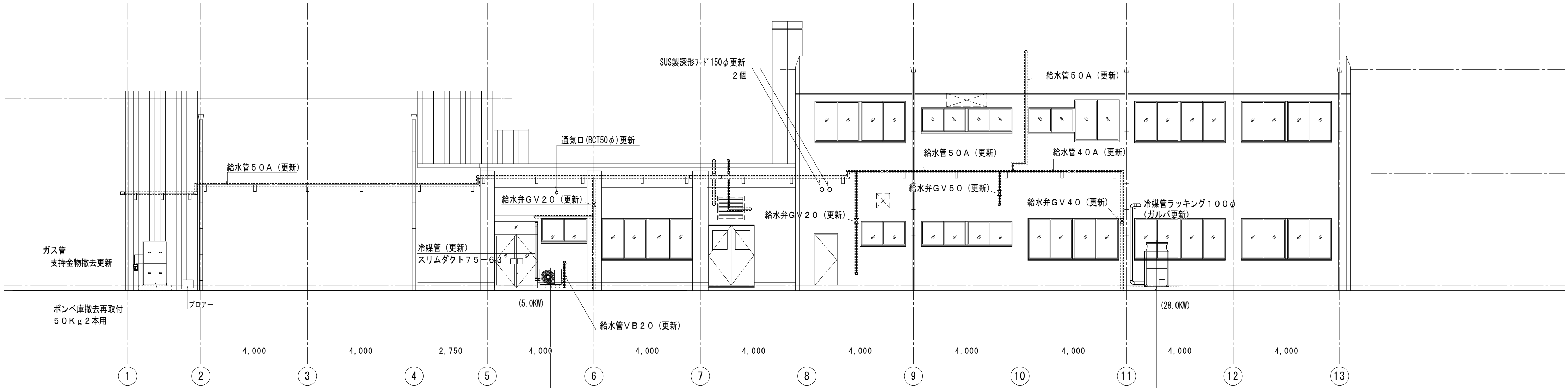
農村環境改善センター棟 2階平面図 S=1/100



※共通
既設給水管の撤去後はPP管にて仮設配管をする。

改修前東立面図 S=1/100

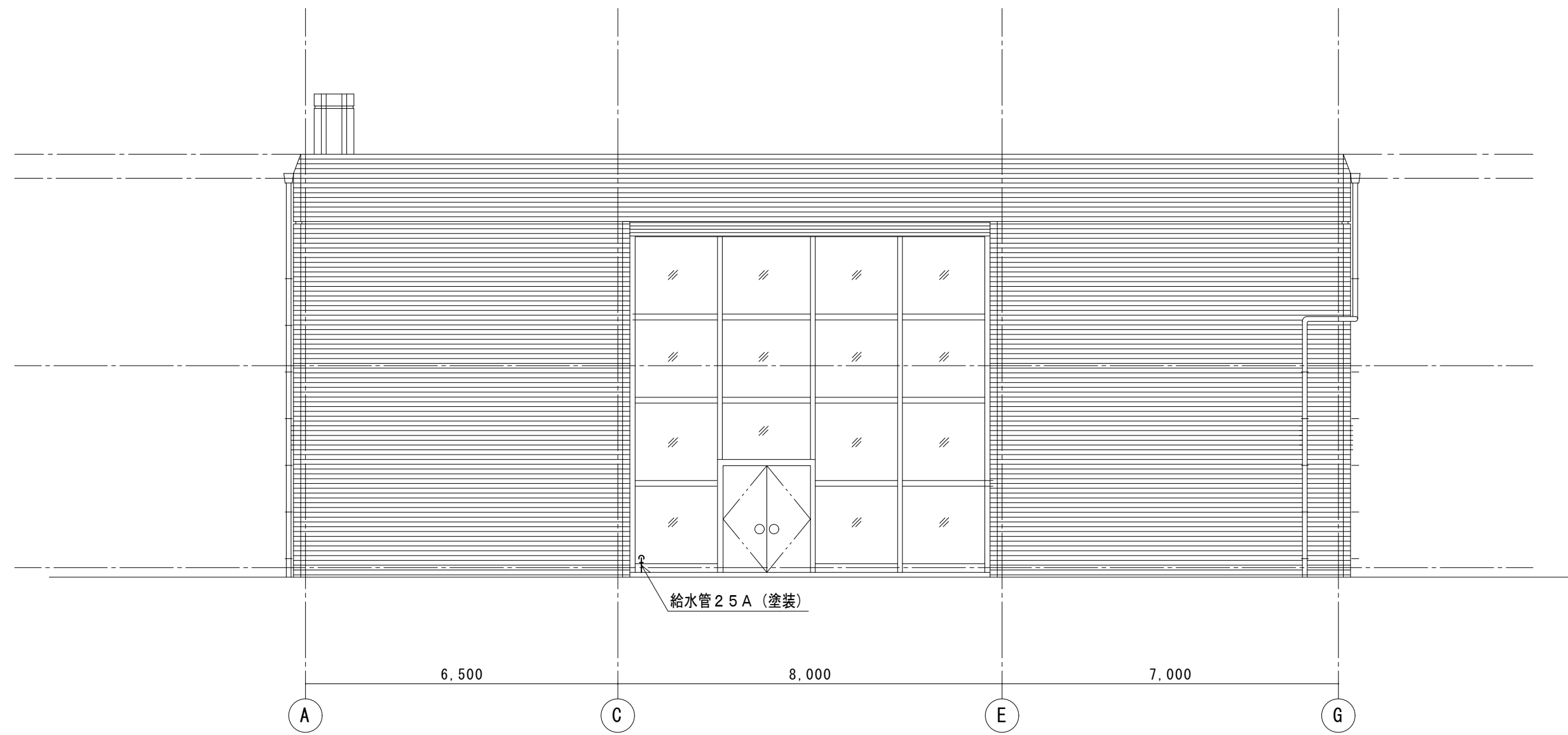
※共通
給水管 (更新)
給水管保温 (撤去後ガルバ更新)
支持ブラケット (撤去再取付)



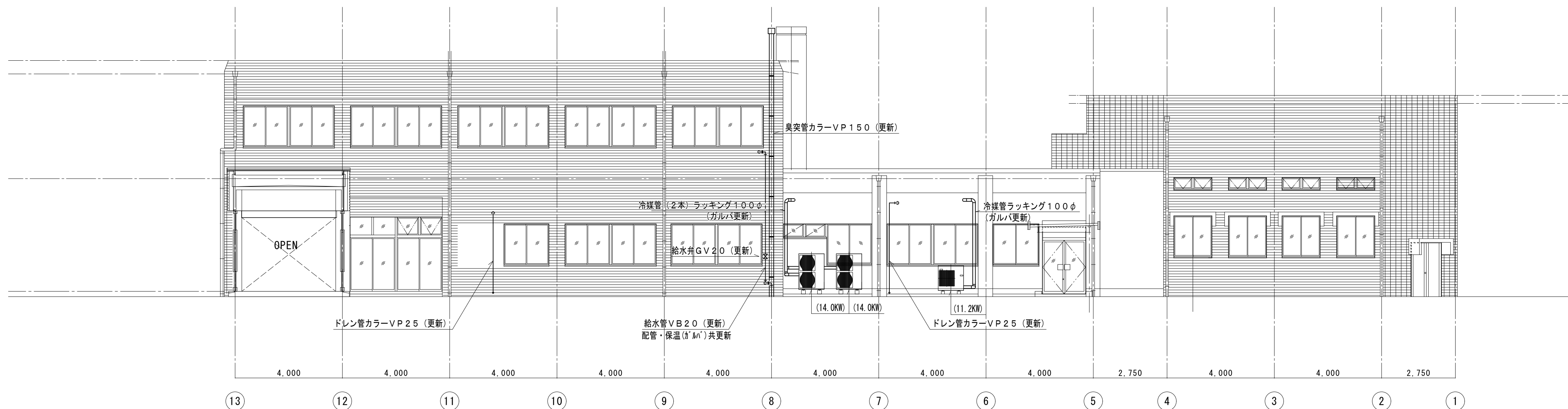
※共通
既設給水管の撤去後はPP管にて仮設配管をする。

改修前北立面図 S=1/100

※共通
給水管 (更新)
給水管保温 (撤去後ガルバ更新)
支持ブラケット (撤去再取付)



改修前西立面図 S=1/100



改修前南立面図 S=1/100

室外機3台 (仮移動、戻し)
室外機基礎 (再利用)

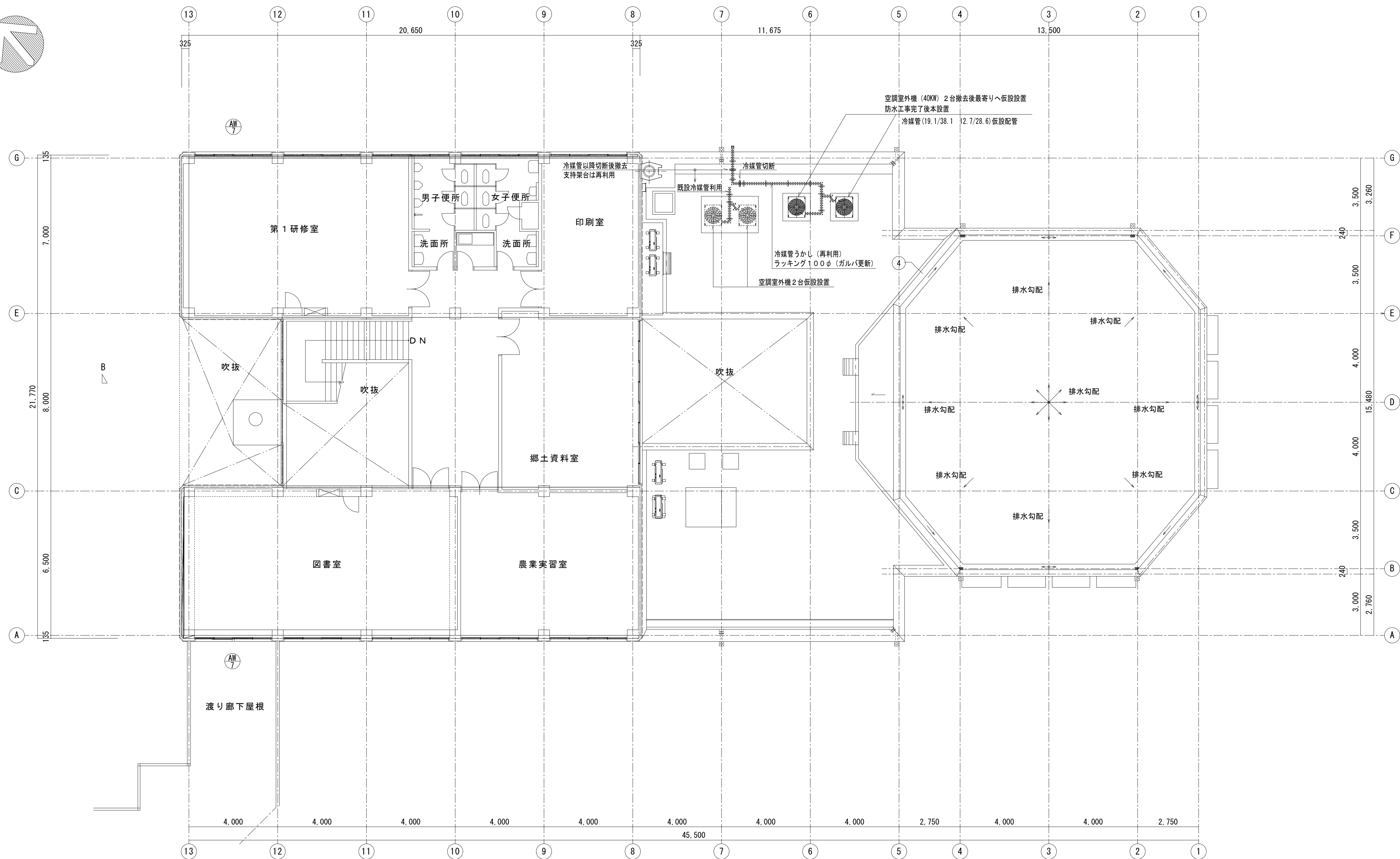
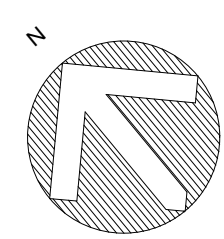
久留米市都市建設部建築課

工事名 三潴農村環境改善センター外部改修工事
図面名 西南面 立面図

縮尺 S=1:100

年: 月: 日: H26. 02
設計担当

図面 No. A C 3 / E P (M) 4



農村環境改善センター棟 2階平面図 S=1/100